ビジネスケアラー・ワーキングケアラー、特に認知症家族介護者の実態・意識等調査

【調査結果資料】

2025年5月公開

株式会社日本総合研究所
リサーチ・コンサルティング部門
ヘルスケア・事業創造グループ・高齢社会イノベーショングループ

協賛：日本イーライリリー株式会社

ビジネスケアラー・ワーキングケアラー*、
特に認知症家族介護者の実態・意識等調査

*仕事をしながら家族等の介護に従事する者

実施背景とリサーチ内容

- ダイバーシティ＆インクルージョン（D&I）の重要性は社会の中で高まっているものの、経営者・人事視点での従業員の介護に対する優先度は必ずしも高くない。なかでも認知症の介護に関しては、「自分ごと」になっていない可能性が高い。
- 被介護者が認知症の症状がある場合とそうでない場合で、ビジネスケアラー・ワーキングケアラーの介護にかける時間や、介護に対する身体的・心理的負担にどのような違いがあるかを明らかにする。

調査仕様

- **調査名（回答者への表示）：**ビジネスケアラー・ワーキングケアラー向け定量調査
- **調査地域：**全国
- **調査対象：**家族の介護をしている会社員
- **サンプルサイズ・割付：**1,000名
- **調査手法：**インターネットアンケート
- **調査時期：**2024年12月2日～12月6日

Copyright (C) 2025 The Japan Research Institute, Limited. All Rights Reserved.

主な調査結果

- 同居ありでほぼ毎日介護をしている人では、認知症家族介護の場合で約31%、認知症なし家族介護の場合で約9%が、介護1日当たりの時間がほとんど終日となっている。(p34)
- 家族の介護について、仕事に対する影響があると答えた人は認知症家族を介護する人で50~77%、認知症なしの家族を介護する人で23~51%となっている。(p35)
- 家族の介護について、仕事に対する影響があると答えた人は、AD8-Jのスコア*が0~1の人で22~42% 、2~4の人で29~58%、 5~7の人で46~76%となっている。(p33)
- 認知症家族介護に関して企業に求める制度として、「家族介護を支援する制度の周知の機会」、「正しい認知症を学ぶ機会」、「家族の認知症を早期発見・診断するための支援」の順に回答数が多かった。（p29）
- 認知症家族介護をしている人・認知症家族を介護していない人ともに、得たいと思っている認知症関連の知識として「認知症の人への適切なサポート方法について」、「認知症の早期発見・診断について」の順に回答数が多かった。(p30)

※AD8-J：家族・介護者の情報に基づく軽度認知障害および認知症の簡易的・初期的な評価法。2点以上はMCI（軽度認知障害）もしくは認知症の可能性がある。得点が高いほど認知機能障害は重度。

Copyright (C) 2025 The Japan Research Institute, Limited. All Rights Reserved.

設問概要/クロス分析

設問概要	結果記載ページ
Q1. 介護をしている家族の続柄・年代	p.5,6
Q2. 介護をしている家族の要介護度	p.7
Q3. 介護年数	p.8
Q4. 介護の頻度・1日あたりの時間	p.9
Q5. 介護をしている家族の生活場所	p.10
Q6. 介護をしている家族の認知機能状況	p.11, 12
Q7. 介護をしている家族の認知症診断の有無	p.13
Q8, 9,10. 回答者勤め先企業の業種・従業員数、職種・雇用形態・在宅勤務割合	p.14-18
Q11. 回答者（介護者）のQOL	p.19, 20
Q12. 介護による仕事への影響	p.21
Q13,14. 勤め先への介護の報告状況	p.22, 23
Q15,16. 勤め先の介護者向け制度の利用状況・制度周知状況	p.24, 25
Q17. 求める仕事と介護の両立支援の取組	p.26
Q18. 認知症基本法の認知状況	p.27
Q19. 企業の認知症家族を介護する従業員への配慮	p.28
Q20. 認知症家族介護に関して企業に求める制度	p.29
Q21. 得たいと考える認知症に関する知識	p.30

クロス分析　※複数の設問を組み合わせた分析	結果記載ページ
Q6. 介護をしている家族の認知機能状況 × Q4. 介護の頻度・1日あたりの時間 (Q5. 介護をしている家族の生活場所：同居ありと答えた人のみ)	p.32
Q6. 介護をしている家族の認知機能状況 × Q12. 介護による仕事への影響 (Q5. 介護をしている家族の生活場所：同居ありと答えた人のみ)	p.33
Q5. 介護をしている家族の生活場所 × Q7. 介護をしている家族の認知症診断の有無 × Q4. 介護の頻度・1日あたりの時間	p.34
Q7. 介護をしている家族の認知症診断の有無　× Q12. 介護による仕事への影響 (Q5. 介護をしている家族の生活場所：同居ありと答えた人のみ)	p.35
Q7. 介護をしている家族の認知症診断の有無 × Q6. 介護をしている家族の認知機能状況	p.36
Q7. 介護をしている家族の認知症診断の有無 × Q11. 回答者のQOL	p.37

※今回の調査目的に関連しない一部の設問は非掲載としている

Copyright (C) 2025 The Japan Research Institute, Limited. All Rights Reserved.

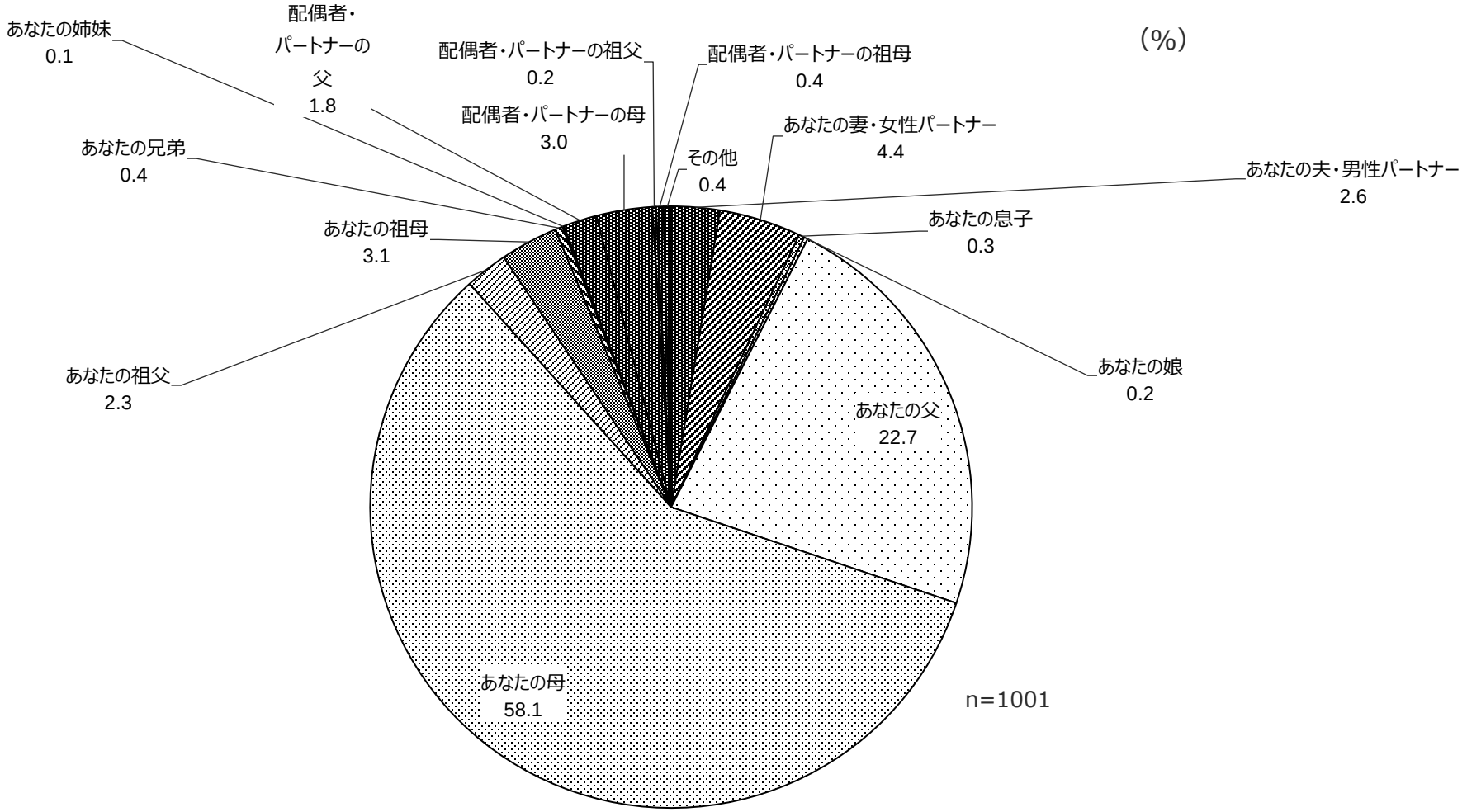
調査結果（単純集計）

Copyright (C) 2025 The Japan Research Institute, Limited. All Rights Reserved.

Q1_1. 回答者が介護している家族の続柄

回答者が介護している家族の属性は、母が約58%、父が約23%

あなたが介護している家族について当てはまるものを選択してください。複数の方の介護をしている場合、最も時間をかけて介護をしている相手についてお答えください。（続柄）(単回答)

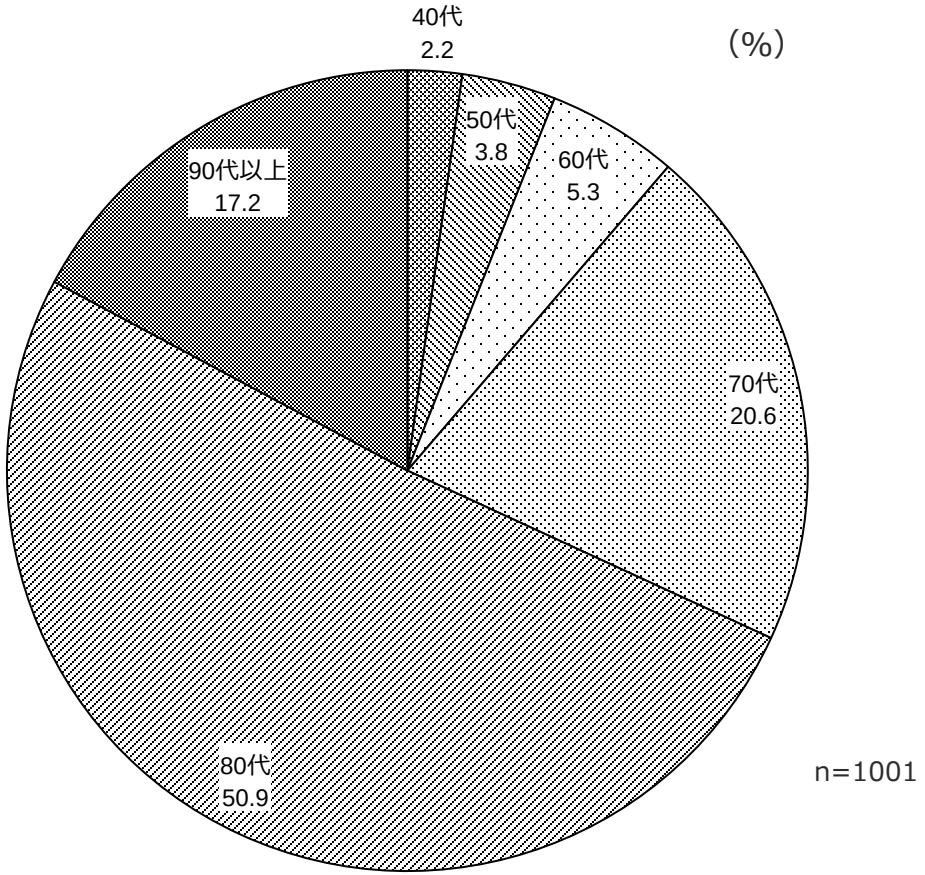


Copyright (C) 2025 The Japan Research Institute, Limited. All Rights Reserved.

Q1_2. 回答者が介護している家族の年代

回答者が介護する家族は、80代が最も多く（51%）、次いで70代（21%）、90代以上（17%）となっていた

あなたが介護している家族について当てはまるものを選択してください。複数の方の介護をしている場合、最も時間をかけて介護をしている相手についてお答えください。（年代）(単回答)

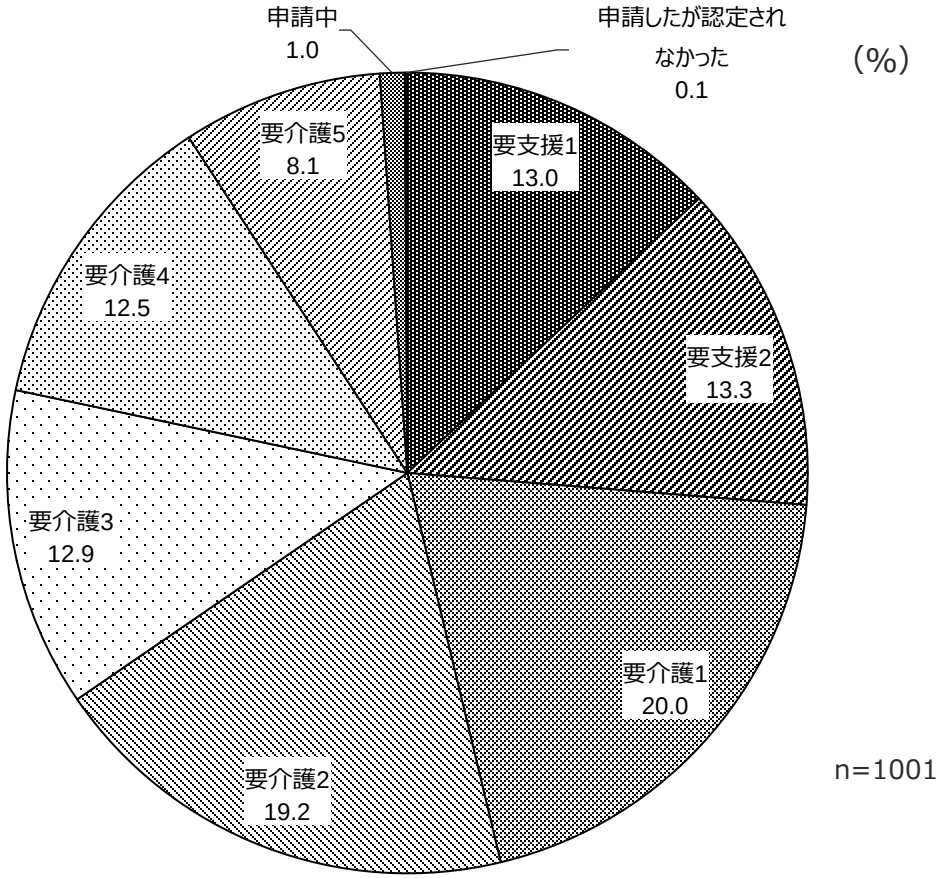


Copyright (C) 2025 The Japan Research Institute, Limited. All Rights Reserved.

Q2. 回答者家族の要介護度

回答者が介護している家族の要介護度は
要支援1, 2に該当する方が約26%、要介護1~2に該当する方が約39%、
要介護3~5に該当する方が約34%となった

あなたが介護している家族について、要介護度を教えてください。(単回答)

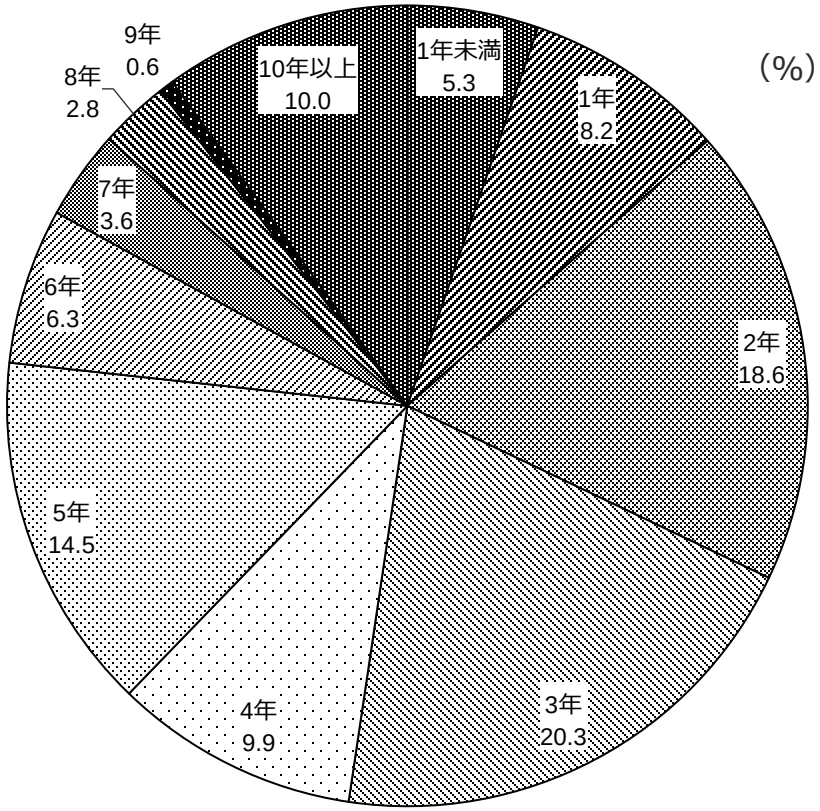


Copyright (C) 2025 The Japan Research Institute, Limited. All Rights Reserved.

Q3. 介護年数

回答者の介護年数は、3年以下が半数以上

介護を始めてから何年が経ちましたか。（四捨五入して回答。例；2年9か月であれば3年と回答。半年未満の場合は1年未満とお答えください）(単回答)

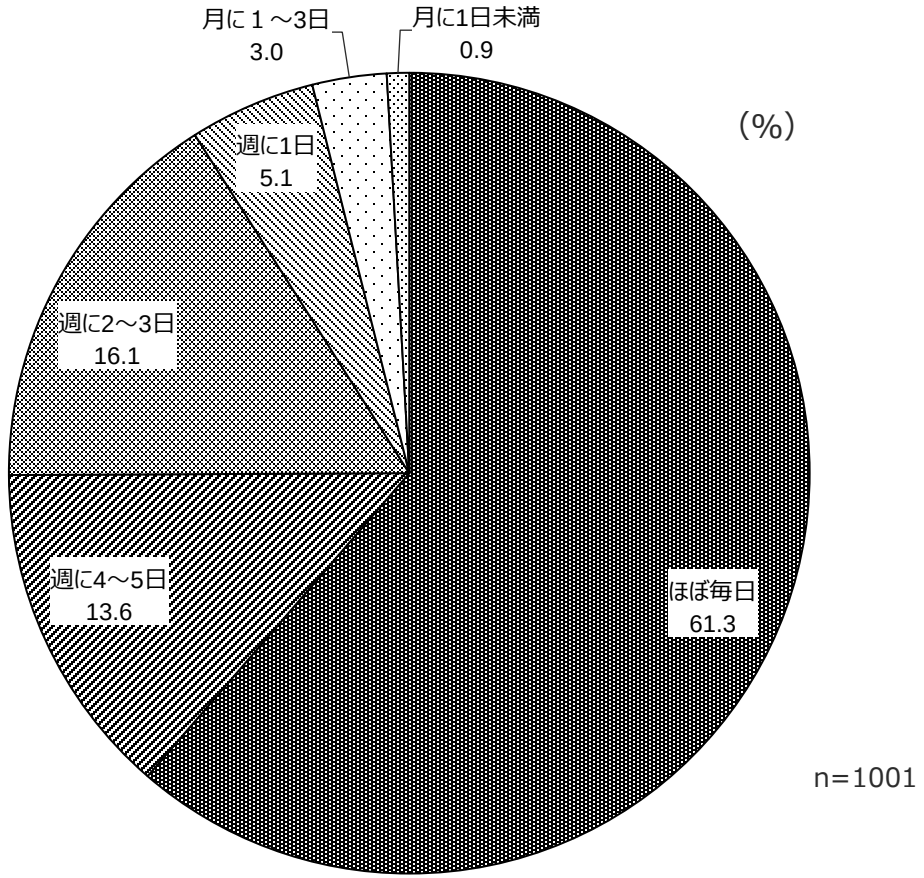


Copyright (C) 2025 The Japan Research Institute, Limited. All Rights Reserved.

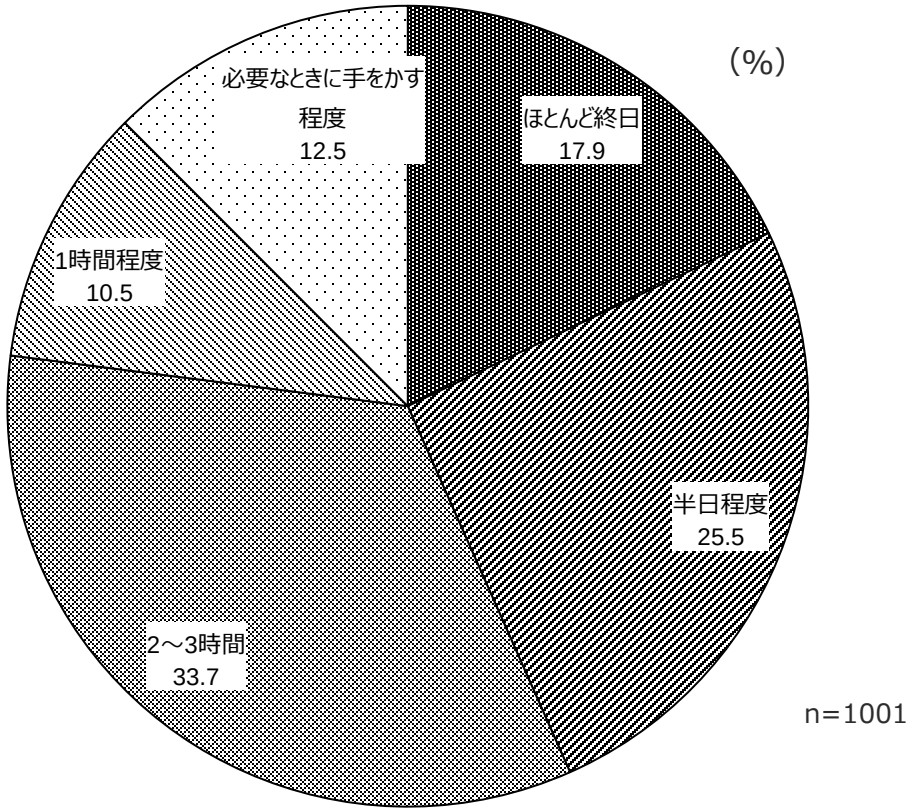
Q4. 介護の頻度・1日あたりの時間

回答者の介護頻度は、ほぼ毎日と答えた人が約61%
回答者の介護の1日当たりの時間は、2~3時間と答えた人が最も多く約34%

【介護の頻度】



【介護の1日当たりの時間】

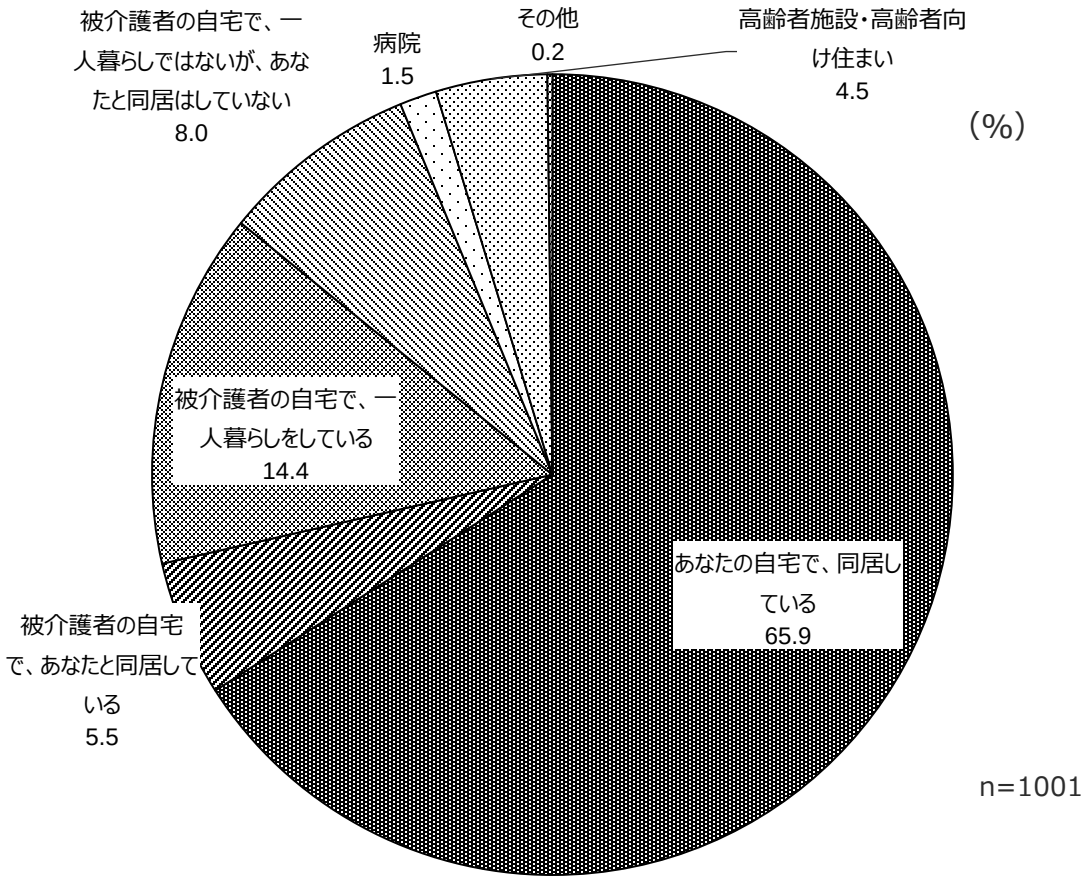


Copyright (C) 2025 The Japan Research Institute, Limited. All Rights Reserved.

Q5. 介護をしている家族の生活場所

介護をしている家族と同居している割合は約71%

あなたが介護している人は、主にどこで生活していますか。(単回答)

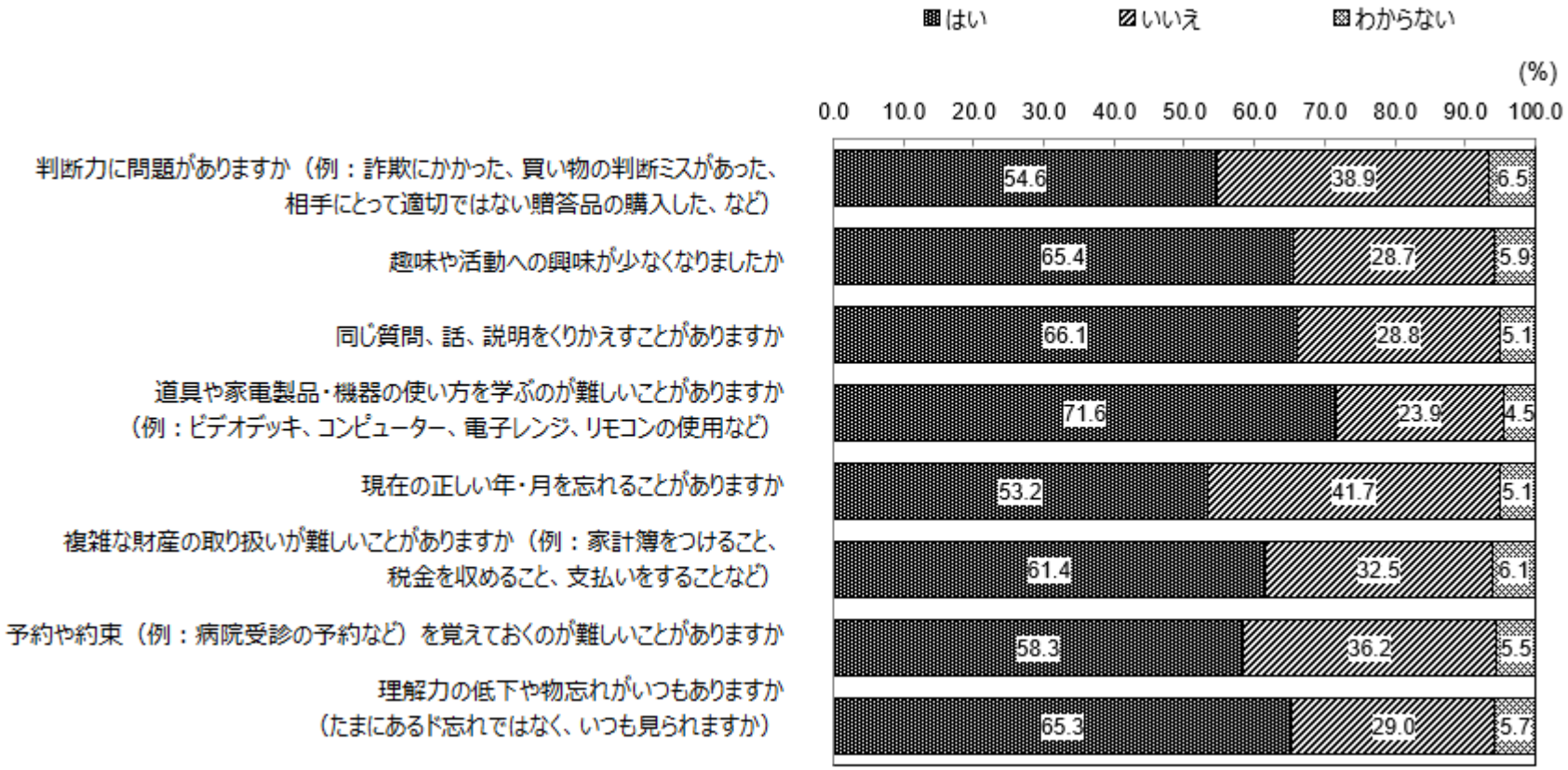


Copyright (C) 2025 The Japan Research Institute, Limited. All Rights Reserved.

Q6. 介護をしている家族の認知機能状況（個別質問）

8つの設問で指標AD8-Jの測定をした

あなたが介護している家族の物忘れ等についてうかがいます。数年前と比べて、あなたが介護している家族は、理解力の低下や物忘れのために次のことが低下したと思いますか。「はい」、「いいえ」、「わからない」から1つ選び、○をつけてください。（出典：目黒ら, 日老医誌 2015;52:61-70）(単回答)



※AD8-J：家族・介護者の情報に基づく軽度認知障害および認知症の簡易的・初期的な評価法。2点以上はMCI（軽度認知障害）もしくは認知症の可能性がある。得点が高いほど認知機能障害は重度。
各設問、はい=1点、それ以外=0点で計算される。

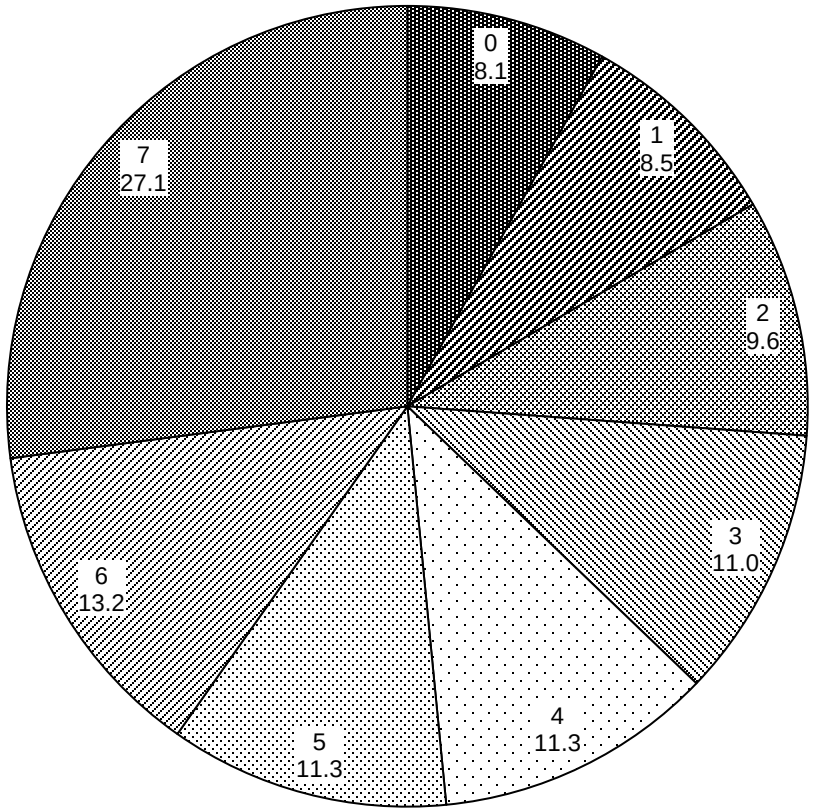
n=1001

Copyright (C) 2025 The Japan Research Institute, Limited. All Rights Reserved.

Q6. 介護をしている家族の認知機能状況（スコア換算後）

AD8-Jスコアの測定において、介護をしている家族の認知症の検査陽性（MCIまたは認知症）となる2点以上のスコアを示した人は約83%

AD8-Jスコア（Q7の8つの質問を基にスコア化）



（%）

AD8-J
家族・介護者の情報に基づく軽度認知障害および認知症の簡易的・初期的な評価法。2点以上はMCI（軽度認知障害）もしくは認知症の可能性がある。得点が高いほど認知機能障害は重度。
各設問、はい=1点、それ以外=0点で計算される。

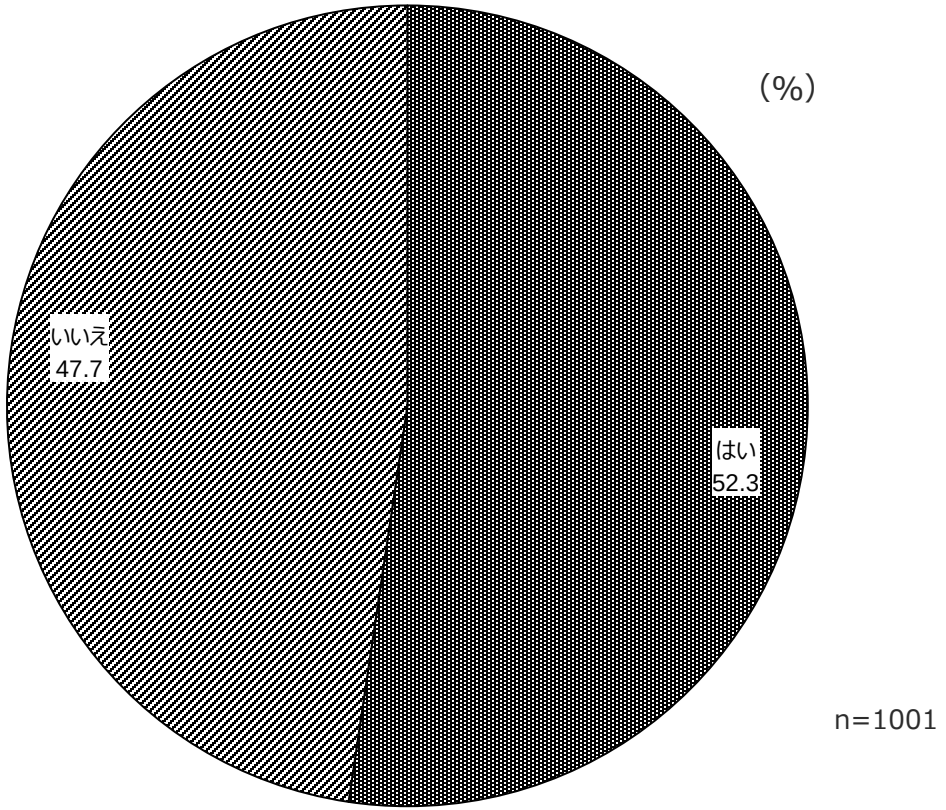
n=1001

Copyright (C) 2025 The Japan Research Institute, Limited. All Rights Reserved.

Q7. 介護をしている家族の認知症診断の有無

本アンケート回答時点で、回答者が介護している家族のうち約52%が認知症と診断されている

現在、介護している家族は、認知症と診断されていますか。(単回答)

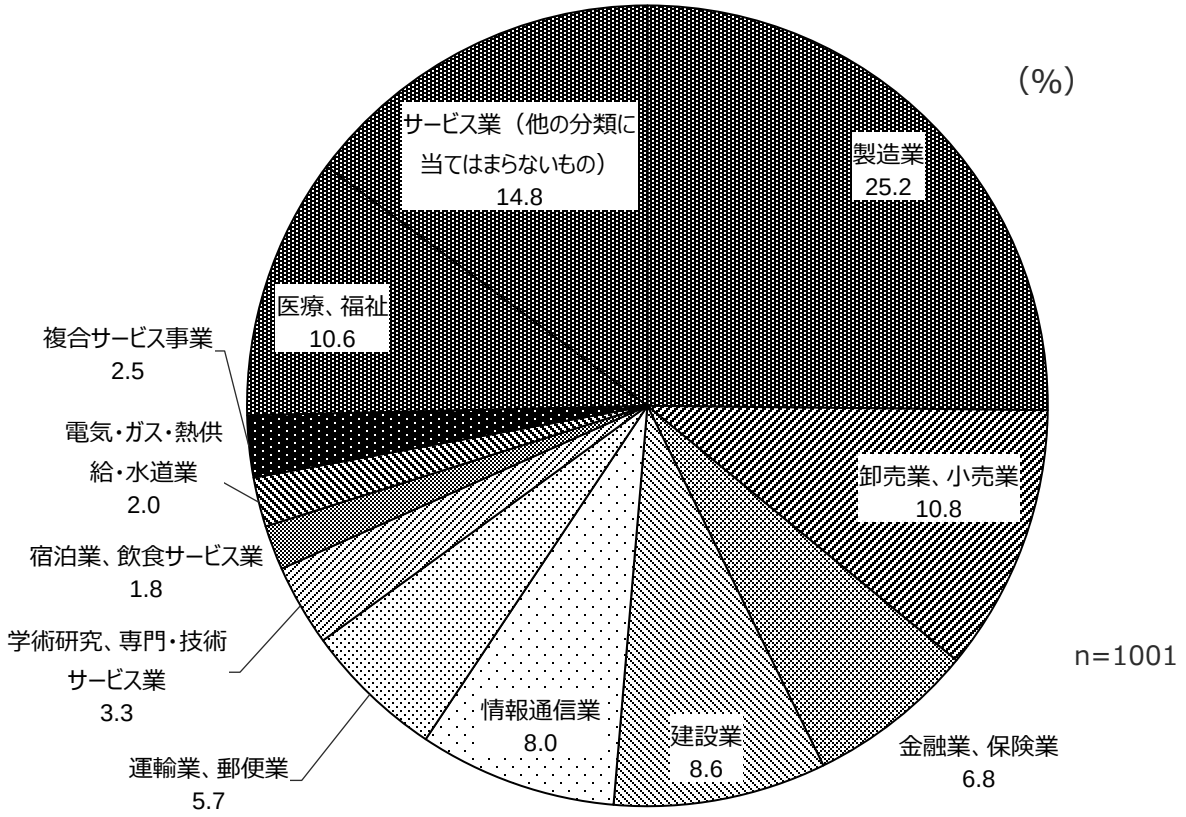


Copyright (C) 2025 The Japan Research Institute, Limited. All Rights Reserved.

Q8. 回答者の勤め先企業の業種

回答者の勤め先企業の属性で最も多かったのは製造業で約25%

あなたの勤め先の企業の業種を教えてください。(単回答)

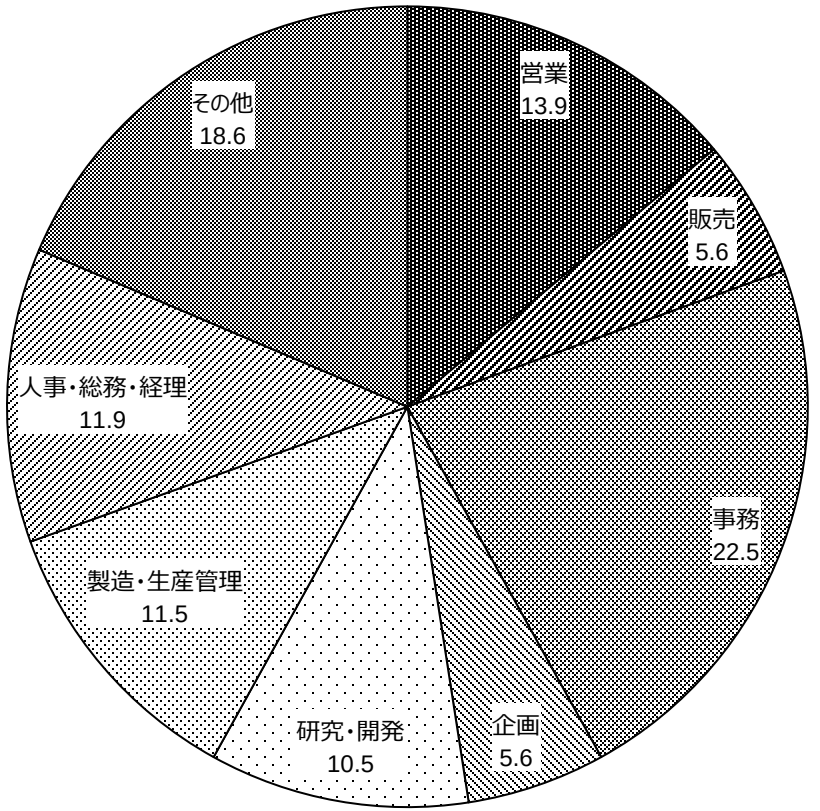


Copyright (C) 2025 The Japan Research Institute, Limited. All Rights Reserved.

Q9_1. 回答者の職種

回答者の職種は事務と答えた方が最も多く約23%

あなた自身の職種、雇用形態、在宅勤務の割合を教えてください。（職種）(単回答)



(%)

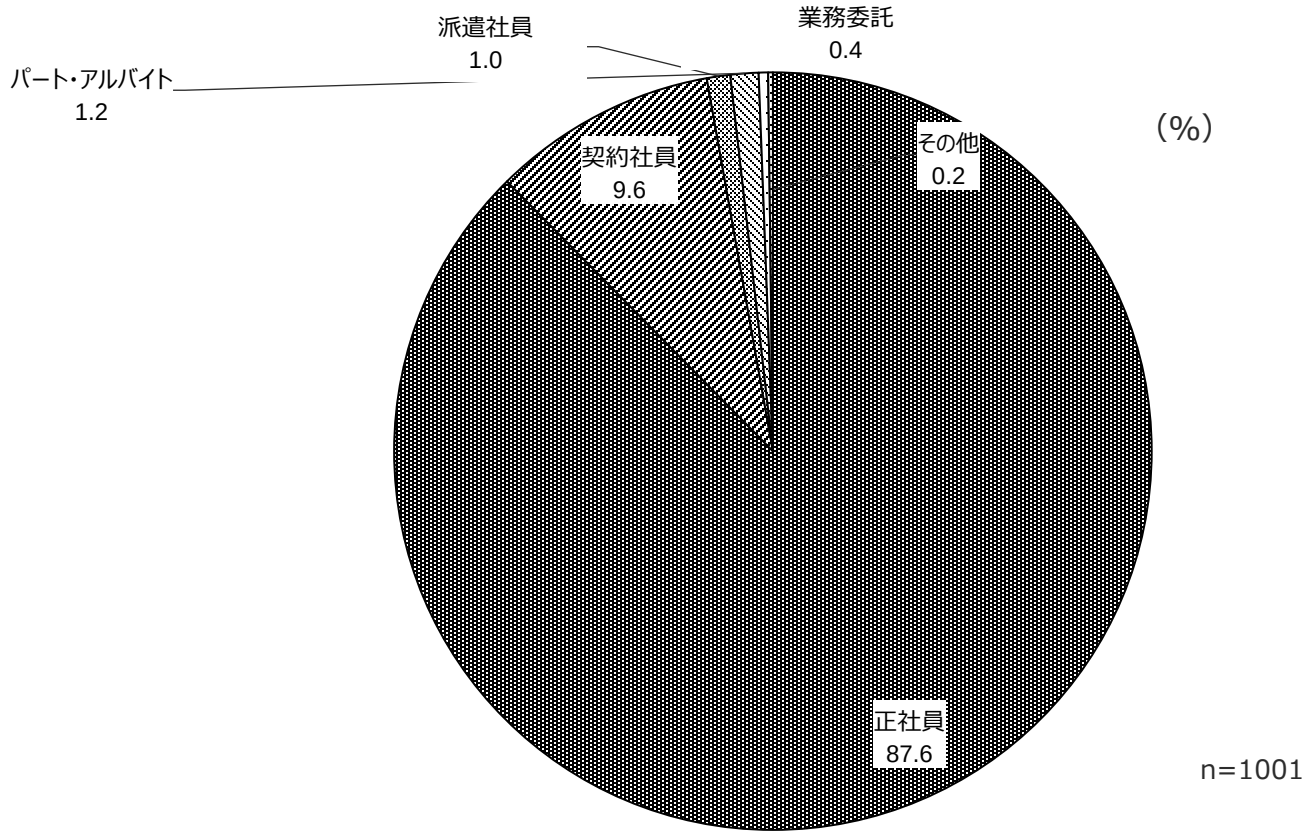
n=1001

Copyright (C) 2025 The Japan Research Institute, Limited. All Rights Reserved.

Q9_2. 回答者の雇用形態

回答者の雇用形態で最も多いのは正社員で約88%

あなた自身の職種、雇用形態、在宅勤務の割合を教えてください。（雇用形態）(単回答)

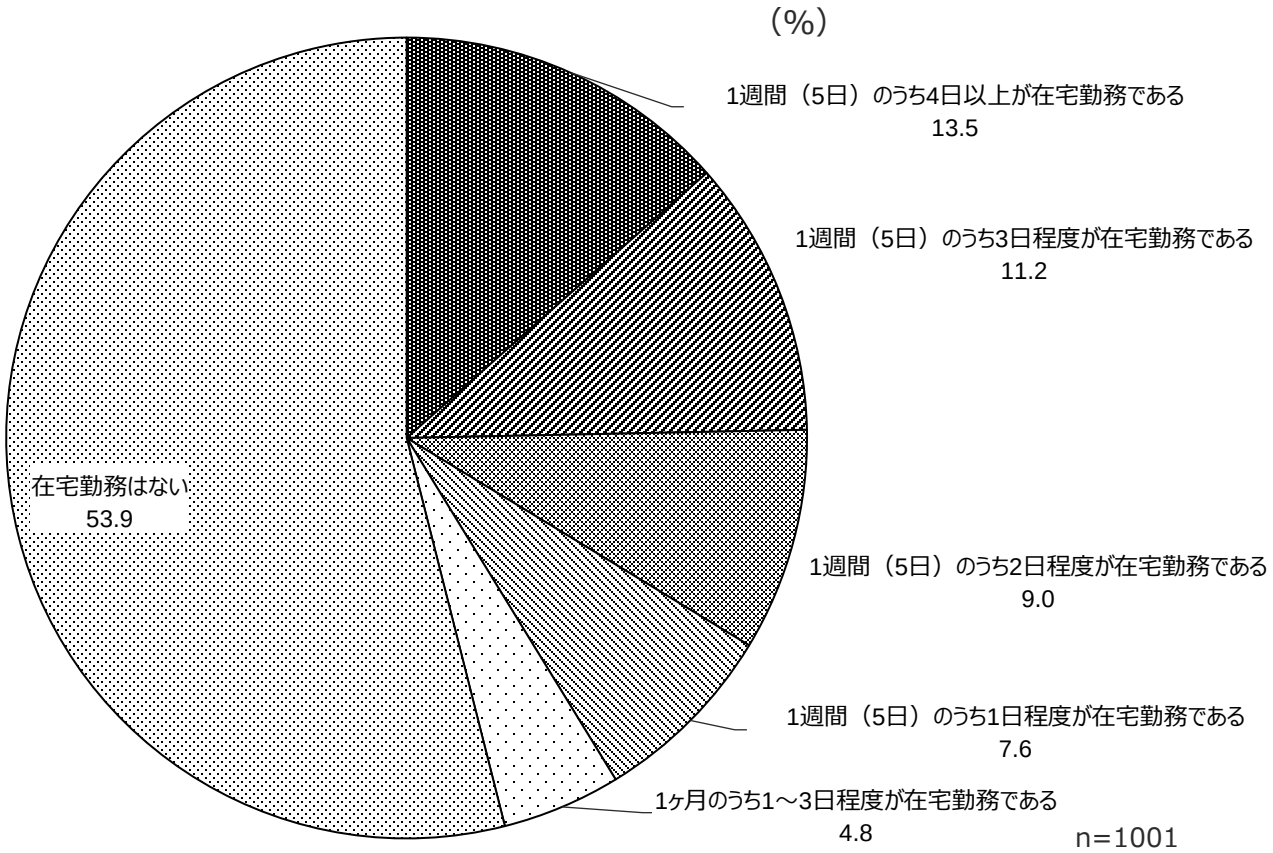


Copyright (C) 2025 The Japan Research Institute, Limited. All Rights Reserved.

Q9_3. 回答者の在宅勤務の割合

回答者の約54%は（在宅勤務ではなく）出社している

あなた自身の職種、雇用形態、在宅勤務の割合を教えてください。（在宅勤務の割合）(単回答)

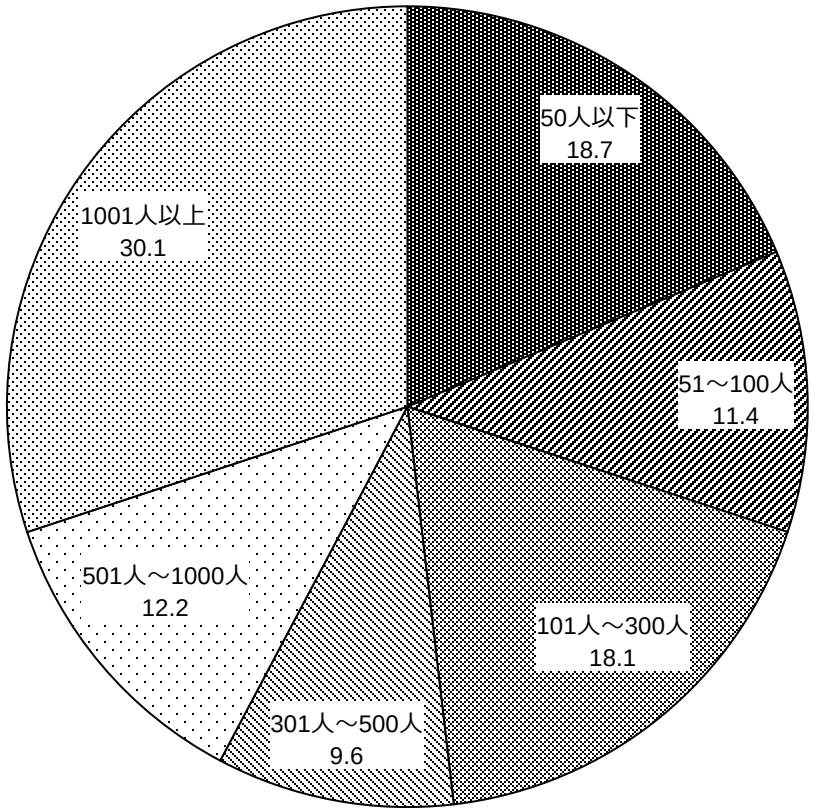


Copyright (C) 2025 The Japan Research Institute, Limited. All Rights Reserved.

Q10. 回答者の勤め先企業の従業員数

回答者の勤め先企業の従業員数は1001人以上が約30%

あなたの勤め先の企業の従業員の人数を教えてください。(単回答)



Copyright (C) 2025 The Japan Research Institute, Limited. All Rights Reserved.

Q11. 回答者（介護者）のQOL（個別質問）

7つの設問で指標ASCOTの測定をした

以下の設問について、４つの選択肢から、今のあなたの気持ちに最も近いものを選んでください。（出典：ASCOT）(単回答)

(%)

Q12_1 あなたは大切だと思うことや楽しんでいることをしながら、自分の時間を過ごせていますか。趣味、仕事、ボランティア、他者のケアなどを含めて考えてください。(単回答)		
1	思い通りに過ごせている	13.0
2	おおむね過ごせている	37.4
3	あまり過ごしていない	34.4
4	まったく過ごしていない	15.3

Q12_2 あなたは日常生活において自分のことを、どのくらい自分で決められていますか。(単回答)		
1	思い通り好きなように自分で決められている	22.2
2	おおむね自分で決められている	55.3
3	あまり自分で決められない	16.0
4	まったく自分で決められない	6.5

Q12_3 十分睡眠をとったり、適切に食事をとったりなど、どのくらい自分を大切にしていますか。(単回答)		
1	思い通りに、自分を大切にしている	15.4
2	おおむね自分を大切にしている	40.6
3	時々、自分を大切にできていない	29.9
4	自分をおろそかにしている	14.2

Q12_4 あなたはどのくらい安全だと感じていますか。「安全だと感じている」とは、ケアしているときに、相手からの暴言・暴力や予期せぬけがなどの恐れがないと感じていることをいいます。(単回答)		
1	自分の望むとおりに、安全だと感じている	27.5
2	自分が望むほどではないが、おおむね安全だと感じている	46.9
3	十分だというほどには安全だと感じていない	18.3
4	まったく安全だと感じていない	7.4

Q12_5 あなたが望む人とのつき合いについて、あなたの状況を表しているのはどれですか。(単回答)		
1	自分が望む人とのつき合いが、思い通りにできている	13.3
2	人とのつき合いが、おおむねできている	34.2
3	人とのつき合いはあるが、十分に満足いくほどではない	39.8
4	人とのつき合いがほとんどなく、社会的に孤立していると感じる	12.8

Q12_6 毎日の生活の中であなたが自分らしくいられる余裕について、あなたの状況を表しているのはどれですか。(単回答)		
1	自分らしくいられる余裕が十分にある	12.4
2	自分らしくいられる余裕が適度にある	35.1
3	自分らしくいられる余裕が多少あるが、十分ではない	38.4
4	自分らしくいられる余裕が少しもない	14.2

Q12_7 あなたがケアしているときに、誰かに支えられたり、元気づけられたりしていると感じていますか。(単回答)		
1	自分が望む支えがあると感じている	12.5
2	支えが適度にあると感じている	36.0
3	支えが多少あるが十分ではないと感じている	34.0
4	支えが何もないと感じている	17.6

n=1001

ASCOT

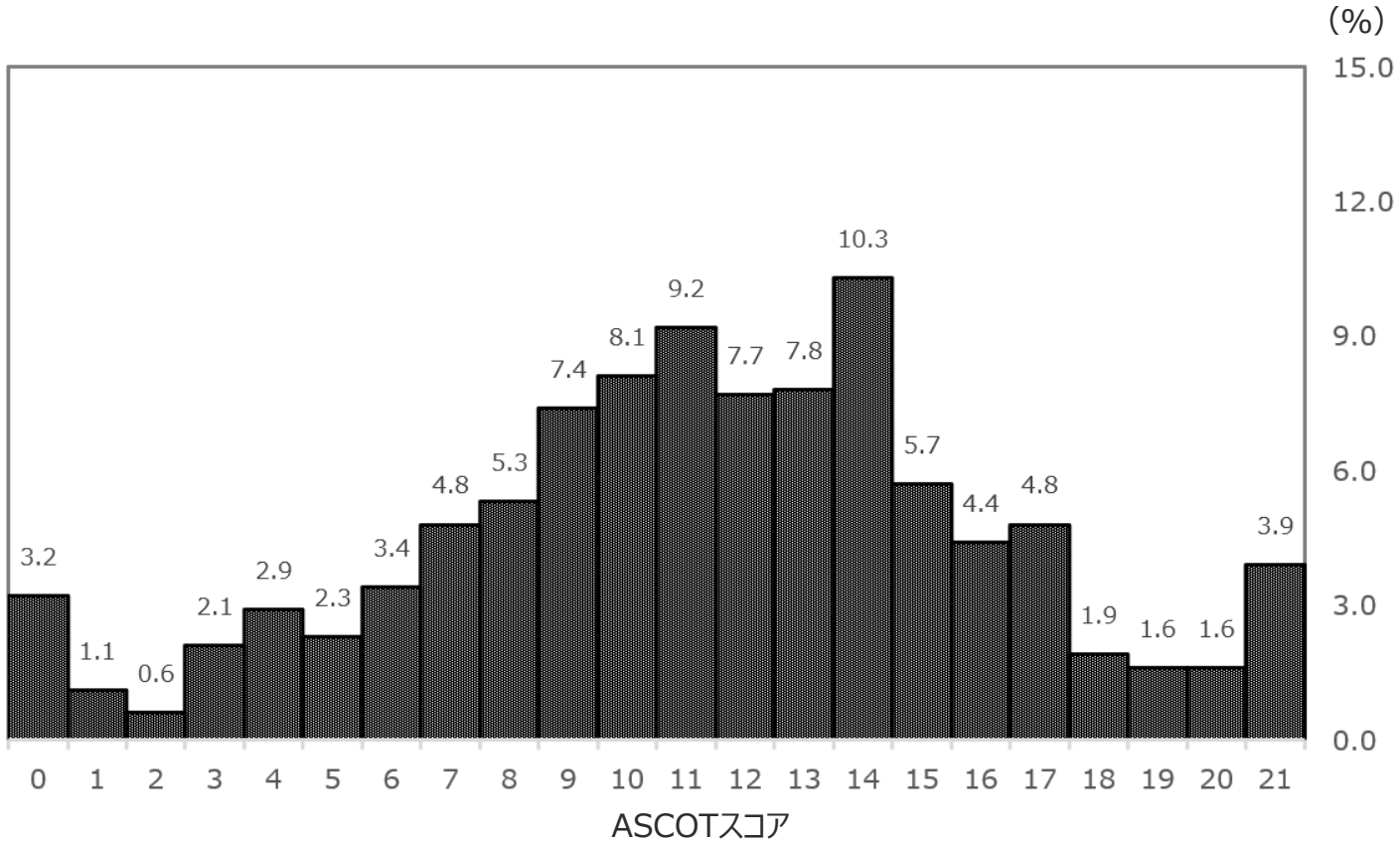
介護者のQOLを測定する指標。21点満点でスコアが高いほどQOLが高い。「思い通りに」「おおむね」「あまり～ではない」「まったく～ではない」の順に３点、２点、１点、０点で算出。

Copyright (C) 2025 The Japan Research Institute, Limited. All Rights Reserved.

Q11. 回答者（介護者）のQOL（スコア換算後）

介護者のQOLを示すASCOTスコアは14点と換算された回答者が最も多く10.3%

ASCOTスコア化（7つの質問でスコア化）(単回答)



※ASCOT
介護者のQOLを測定する指標。21点満点でスコアが高いほどQOLが高い。「思い通りに」「おおむね」「あまり～ではない」「まったく～ではない」の順に３点、２点、１点、０点で算出。

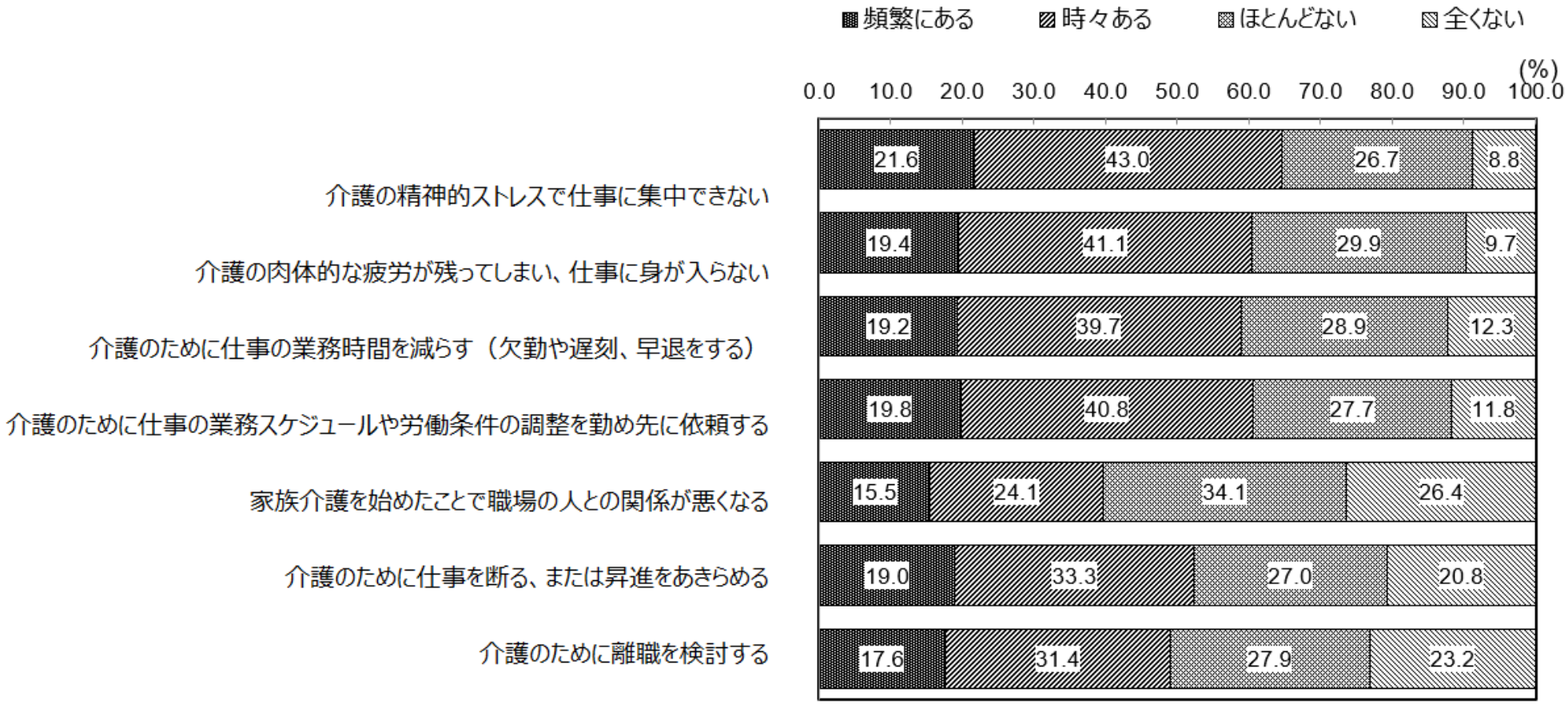
n=1001

Copyright (C) 2025 The Japan Research Institute, Limited. All Rights Reserved.

Q12. 介護による仕事への影響

介護による肉体的・精神的影響は６割以上、ほか仕事への影響は、多くの設問で半数以上の人が「頻繁にある」「時々ある」と回答

家族の介護に対して、下記の仕事への影響がどの程度の頻度でありますか。(単回答)



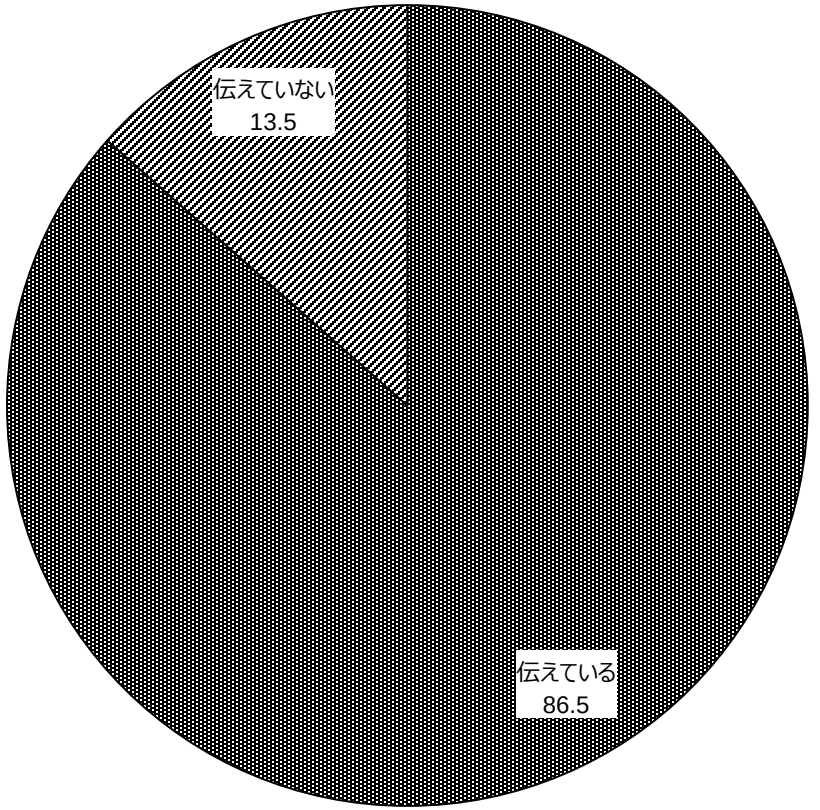
n=1001

Copyright (C) 2025 The Japan Research Institute, Limited. All Rights Reserved.

Q13. 勤め先への介護の報告状況

回答者の約87%が、勤め先へ介護の状況を伝えている

勤め先（上司や人事）に家族の介護状況（介護要因や介護の程度など）について、伝えていますか。(単回答)

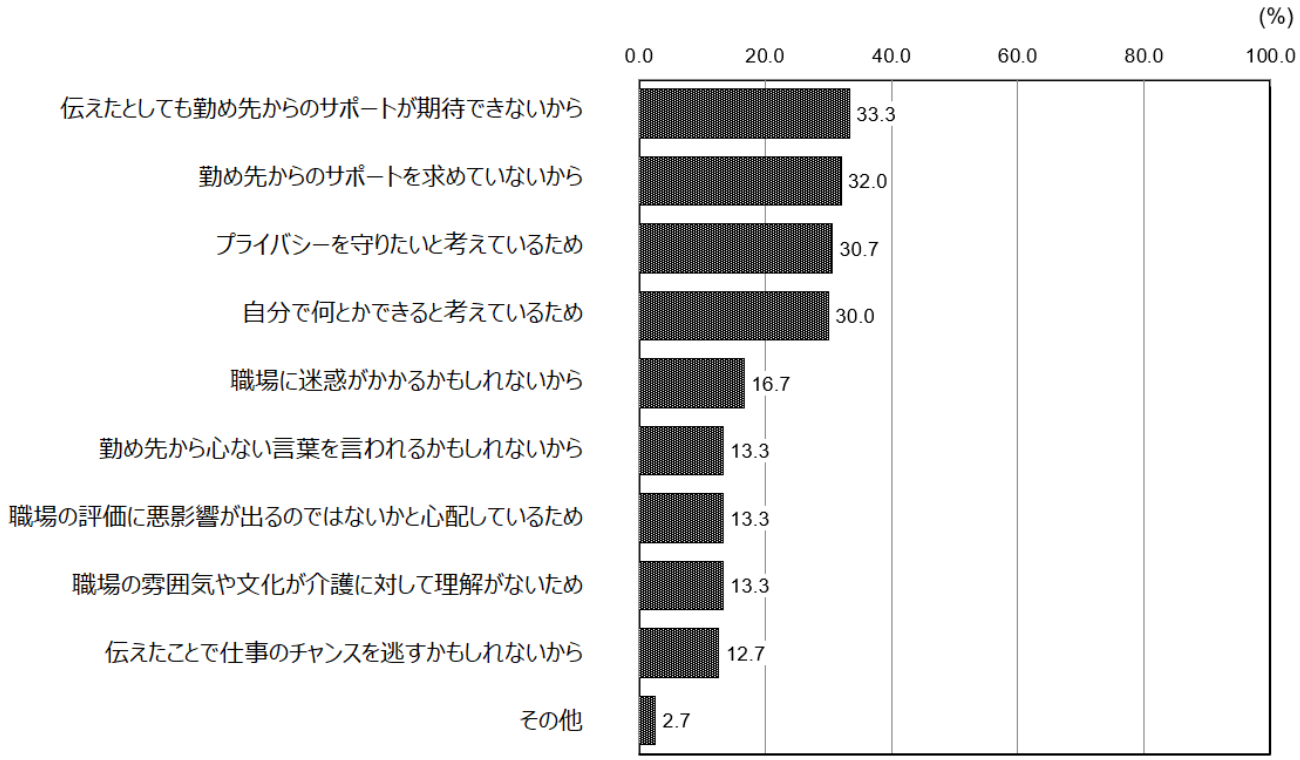


Copyright (C) 2025 The Japan Research Institute, Limited. All Rights Reserved.

Q14. 勤め先へ介護状況を伝えていない理由

勤め先へ介護の状況を伝えていない理由としては、「伝えたとしても勤め先からのサポートが期待できないから」「勤め先からのサポートを求めていないから」という回答が多かった

家族の介護状況（介護要因や介護の程度など）を伝えていない場合、どのような理由からですか。(複数回答)



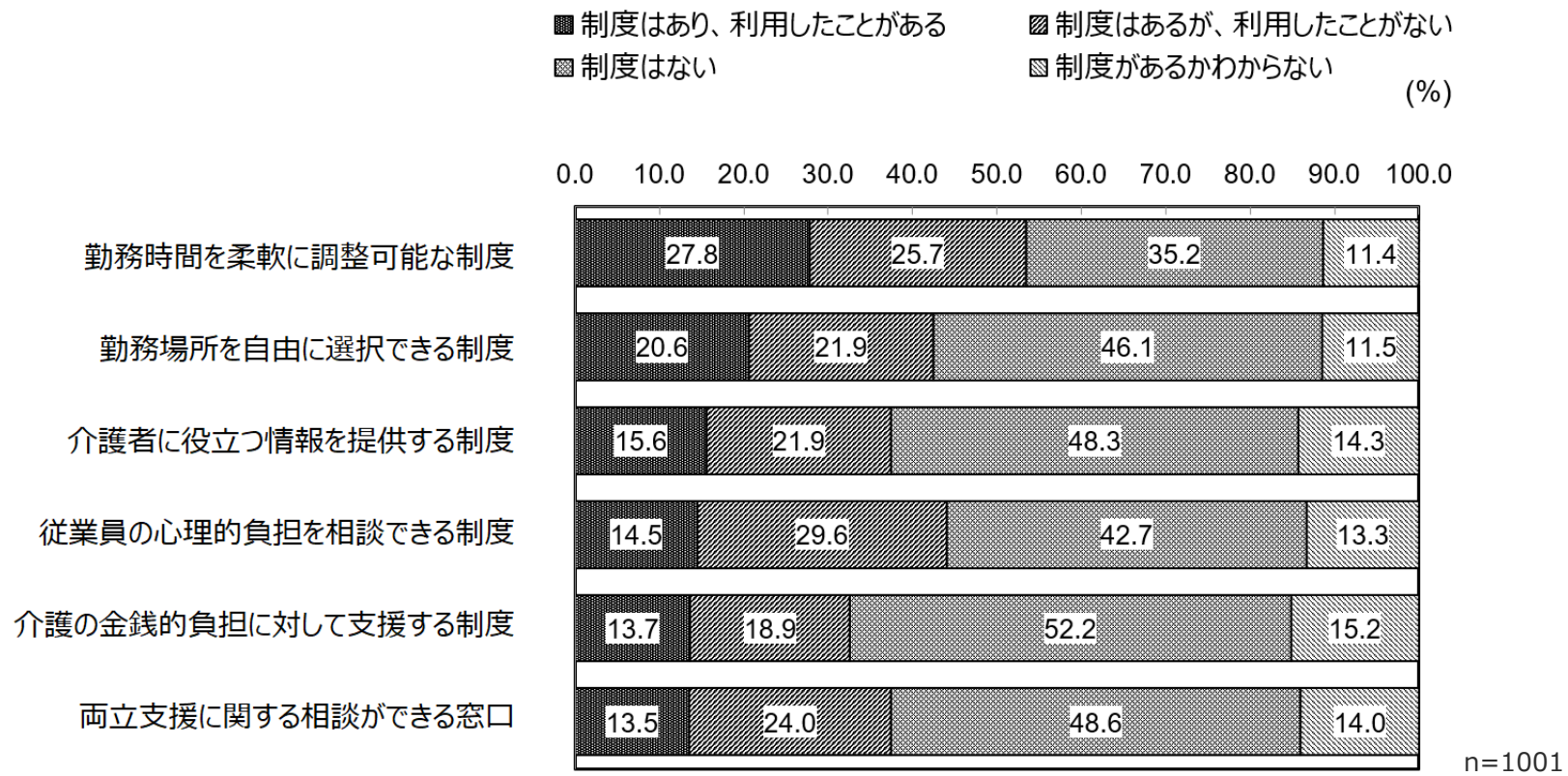
n=135

Copyright (C) 2025 The Japan Research Institute, Limited. All Rights Reserved.

Q15. 勤め先の介護者向け制度の利用状況

企業の制度で最も多く利用されていたのは「勤務時間を柔軟に調整可能な制度」
制度がないという回答者が最も多いのは「介護の金銭的負担に対して支援する制度」

勤め先の企業が介護者向けに設けている制度とあなたの利用実績について当てはまるものを教えてください。(複数回答)



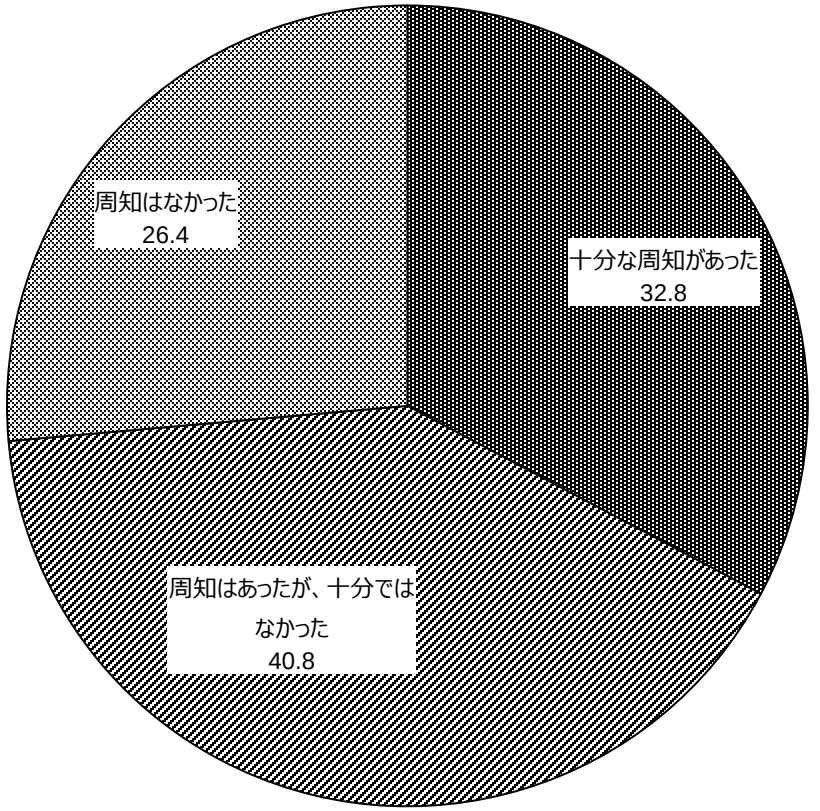
n=1001

Copyright (C) 2025 The Japan Research Institute, Limited. All Rights Reserved.

Q16. 勤め先企業の制度周知の実態

勤め先企業の制度周知が不十分、または周知がなかったと感じている人は約67%

勤め先の企業が設けている制度について、企業から十分な周知がありましたか。(単回答)

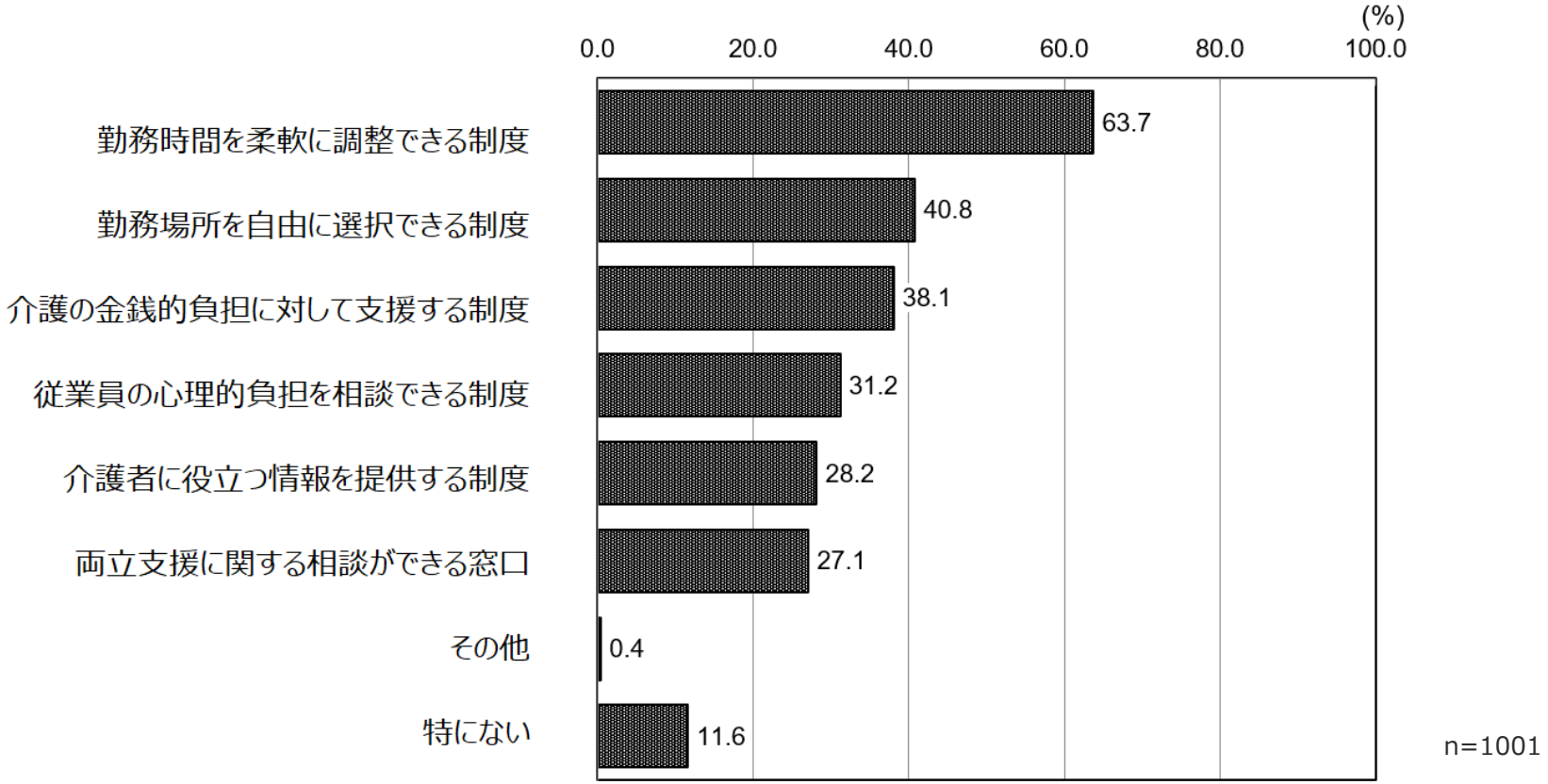


Copyright (C) 2025 The Japan Research Institute, Limited. All Rights Reserved.

Q17. 求める仕事と介護の両立支援の取組

あると望ましいと考える仕事と介護の両立支援の取り組みとして、最も多かったのは「勤務時間を柔軟に調整できる制度」で約64%

あると望ましいと考えるビジネスケアラー・ワーキングケアラー（仕事をしながら介護をする人）向けの仕事と介護の両立支援の取組は何ですか。(複数回答)

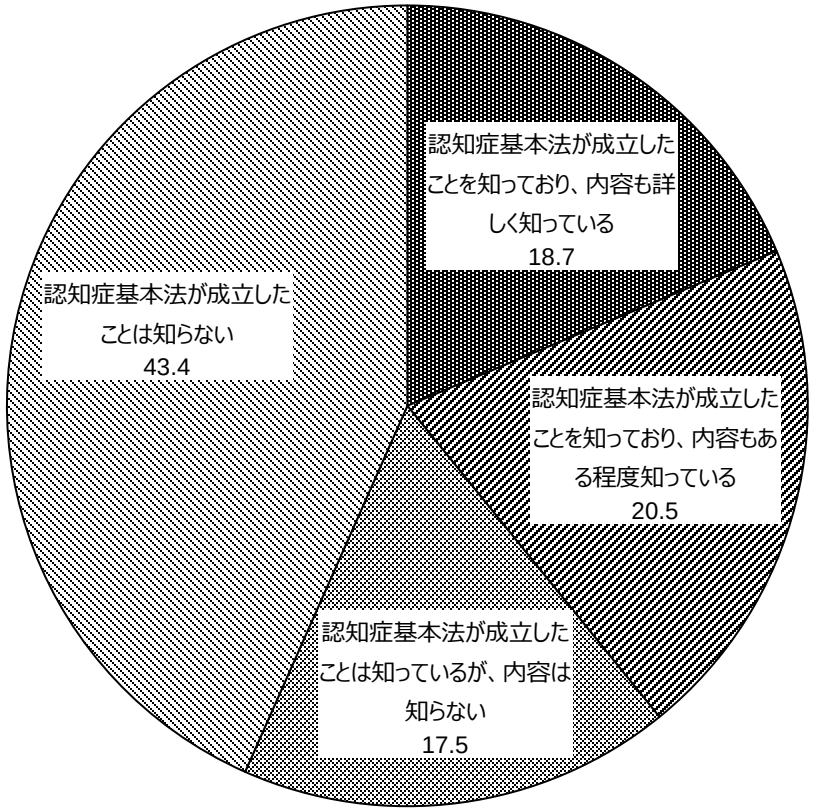


Copyright (C) 2025 The Japan Research Institute, Limited. All Rights Reserved.

Q18. 認知症基本法の認知状況

「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」の内容を ある程度知っている人は約39%

認知症基本法が、2023年に成立したのを知っていますか。(単回答)

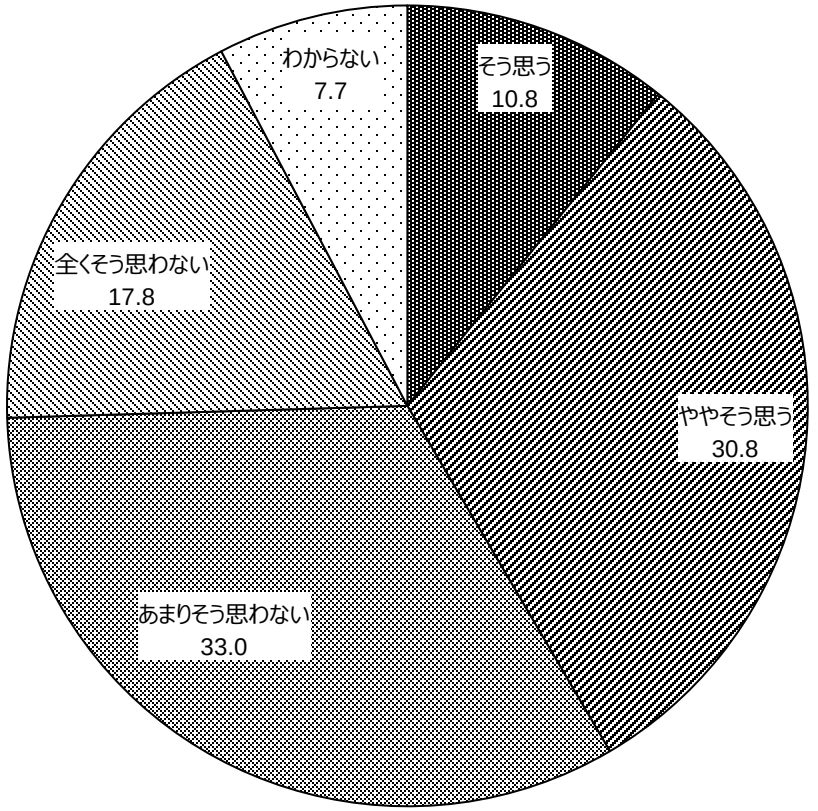


Copyright (C) 2025 The Japan Research Institute, Limited. All Rights Reserved.

Q19. 企業の認知症家族を介護する従業員への配慮

企業が認知症の家族を介護する従業員への配慮について課題感を持って取り組んでいると思う人の割合は約42%

企業は、認知症の家族を介護する従業員への配慮について課題感を持って取り組んでいると思いますか。(単回答)



(%)

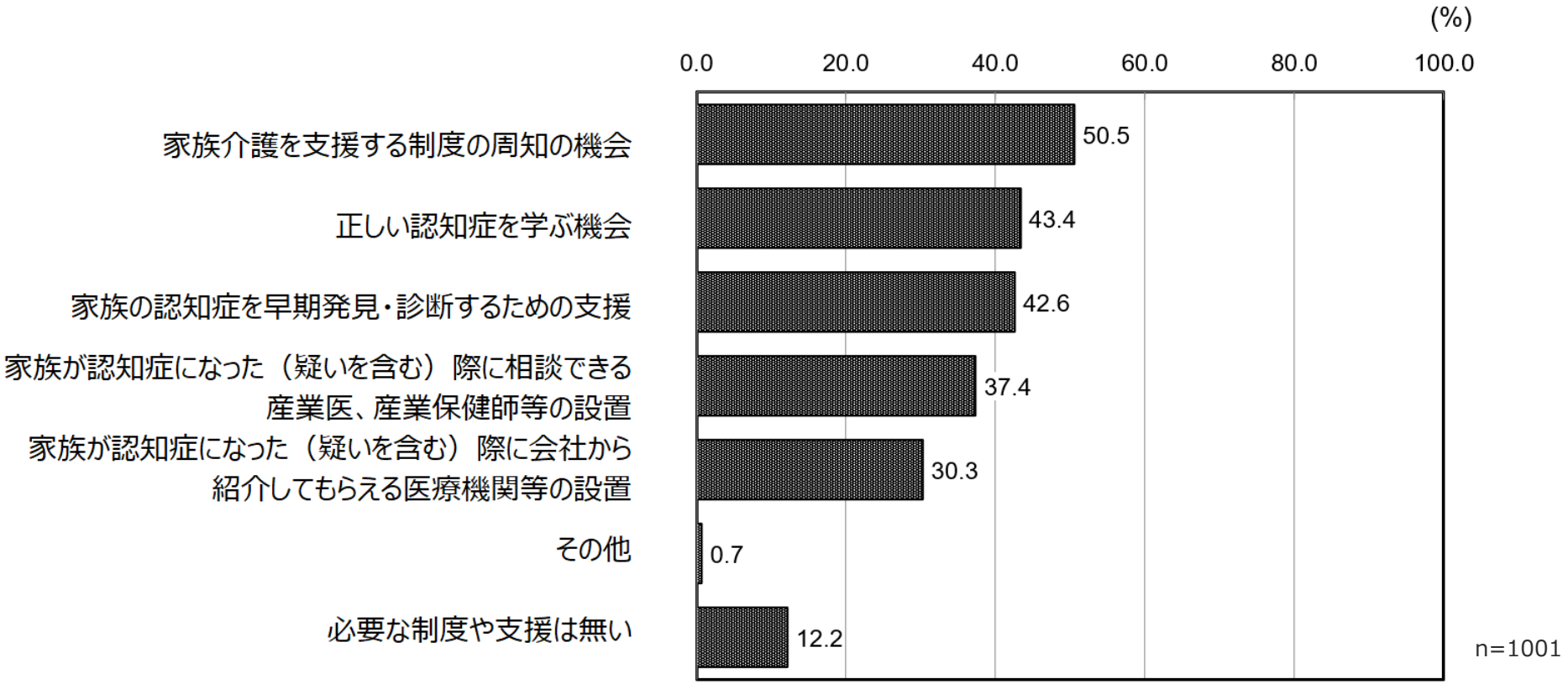
n=1001

Copyright (C) 2025 The Japan Research Institute, Limited. All Rights Reserved.

Q20. 認知症家族介護に関して企業に求める制度

認知症家族介護に関して企業に求める制度として、「家族介護を支援する制度の周知の機会」、「正しい認知症を学ぶ機会」、「家族の認知症を早期発見・診断するための支援」という回答が多かった

あると望ましいと考える認知症の家族の介護に関連する従業員向けの制度や支援は何ですか。(複数回答)

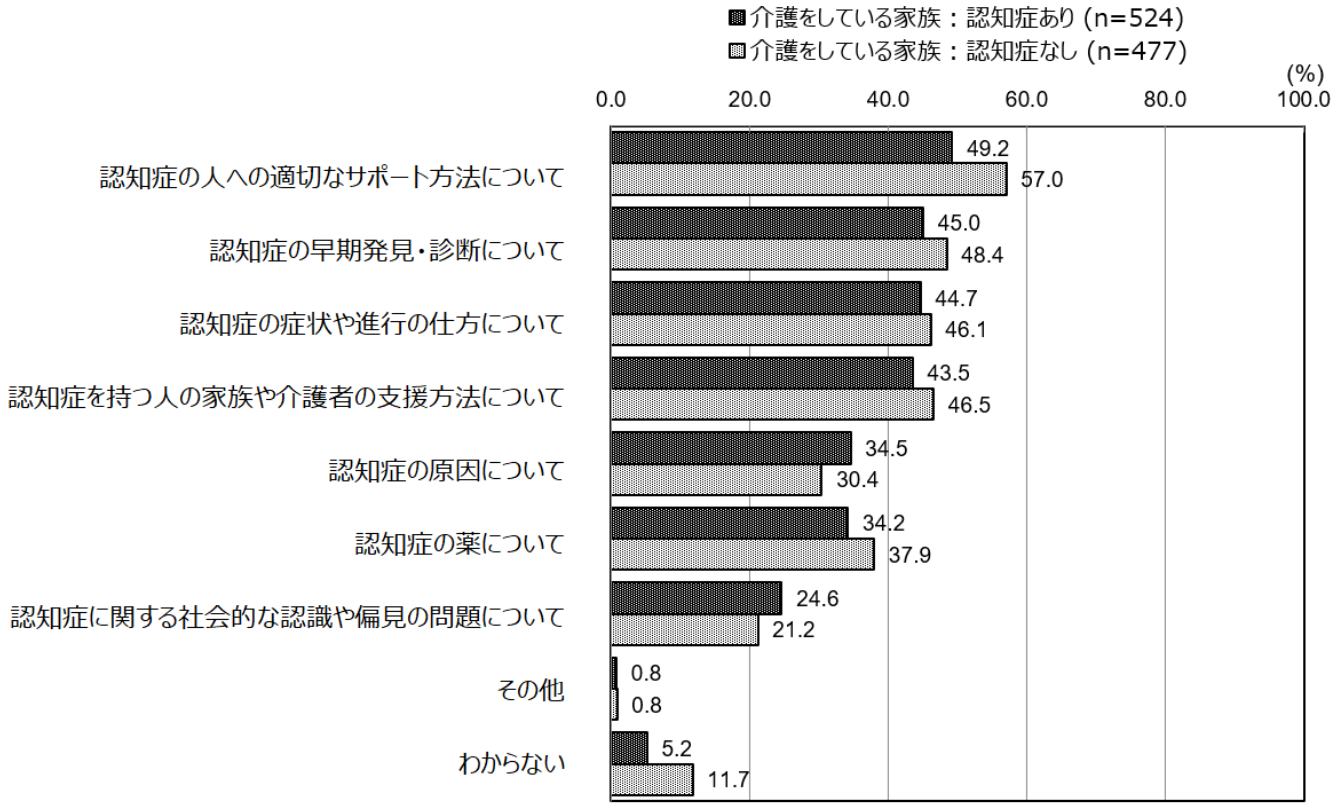


Copyright (C) 2025 The Japan Research Institute, Limited. All Rights Reserved.

Q21. 得たいと考える認知症に関する知識

認知症の家族を介護している人があれば良かったと考える、または認知症の家族を介護していない人が得たいと思っている認知症関連の知識としては、「認知症の人への適切なサポート方法について」「認知症の早期発見・診断について」との回答が多かった

・介護をしている家族が認知症あり：過去を振り返って、どのような認知症に関する正しい知識があれば良かったと思いますか。(複数回答)
・介護をしている家族が認知症なし：どのような認知症に関する正しい知識を得たいと思いますか。(複数回答)



Copyright (C) 2025 The Japan Research Institute, Limited. All Rights Reserved.

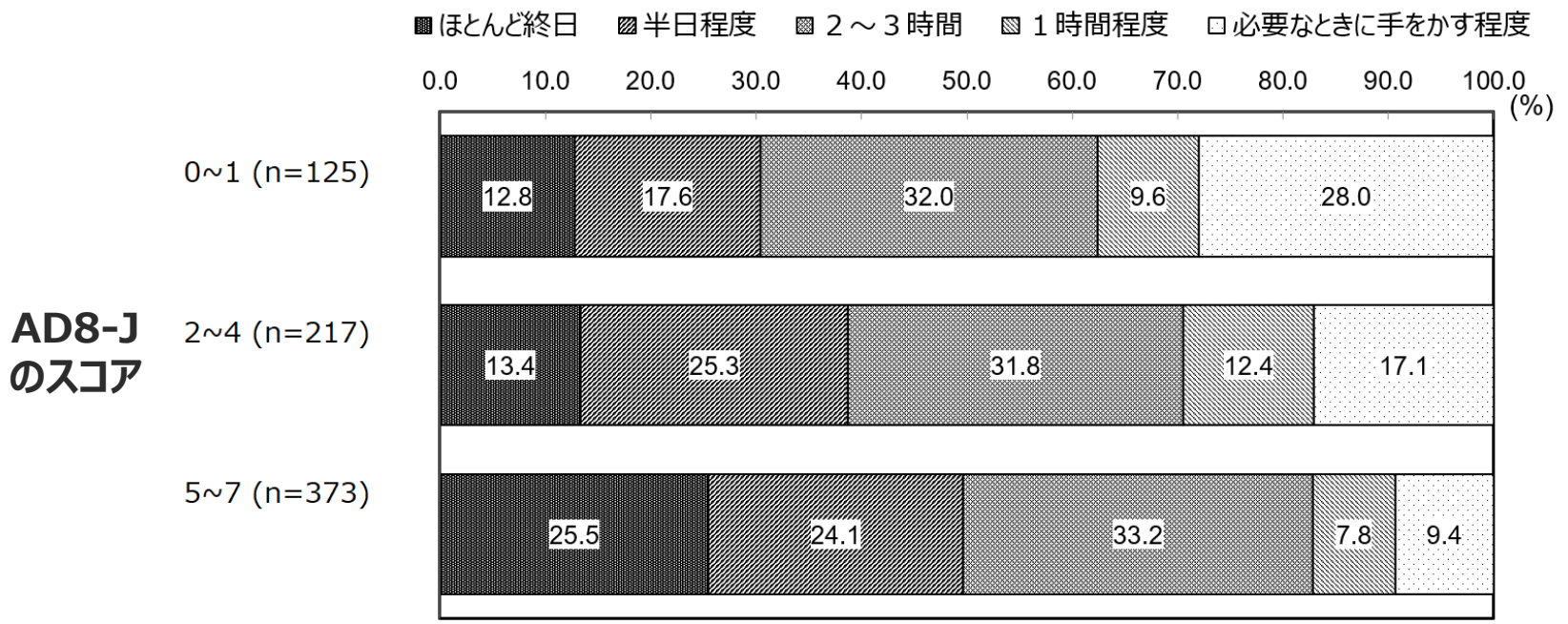
調査結果（クロス分析） ※複数の設問を組み合わせた分析

Copyright (C) 2025 The Japan Research Institute, Limited. All Rights Reserved.

Q6. 介護をしている家族の認知機能状況 × Q4. 介護の頻度・1日あたりの時間 (Q5. 介護をしている家族の生活場所：同居ありと答えた人のみ)

介護の1日当たりの時間がほとんど終日と答えた人は、AD8-Jスコアが0~1の人で約13% 、2~4の人で約13%、5~7の人で約26%

【介護の1日当たりの時間】



介護をしている家族と同居している回答者のみ：n=714

※AD8-J：家族・介護者の情報に基づく軽度認知障害および認知症の簡易的・初期的な評価法。2点以上はMCI（軽度認知障害）もしくは認知症の可能性がある。得点が高いほど認知機能障害は重度。

Copyright (C) 2025 The Japan Research Institute, Limited. All Rights Reserved.

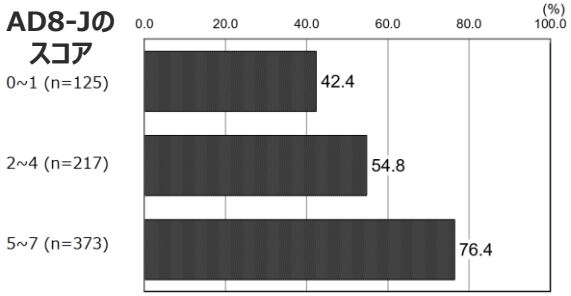
Q6. 介護をしている家族の認知機能状況 × Q12. 介護による仕事への影響 (Q5. 介護をしている家族の生活場所：同居ありと答えた人のみ)

家族の介護について、仕事に対する影響があると答えた人は、AD8-Jのスコアが0~1の人で22~42% 、2~4の人で29~58%、 5~7の人で46~76%

家族の介護に対して、下記の仕事への影響がどの程度の頻度でありますか。(単回答)

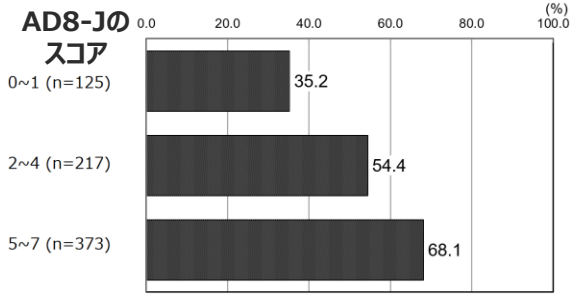
介護の精神的ストレスで仕事に集中できない

頻繁にあるor時々あると答えた方の割合



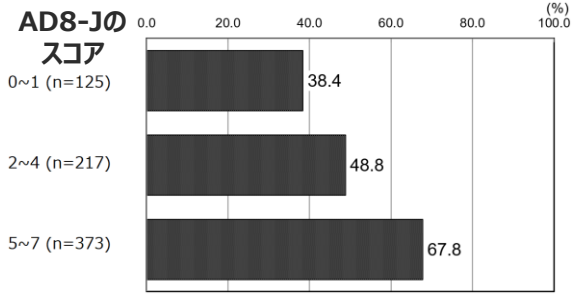
介護の肉体的な疲労が残ってしまい、仕事に身が入らない

頻繁にあるor時々あると答えた方の割合



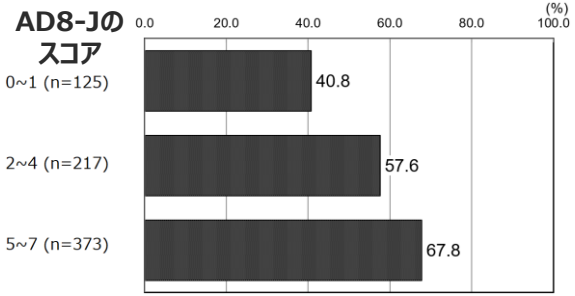
介護のために仕事の業務時間を減らす（欠勤や遅刻、早退をする）

頻繁にあるor時々あると答えた方の割合



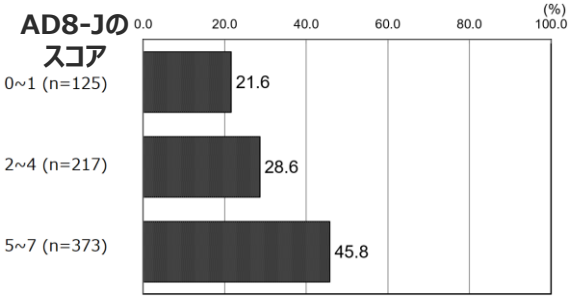
介護のために仕事の業務スケジュールや労働条件の調整を勤め先に依頼する

頻繁にあるor時々あると答えた方の割合



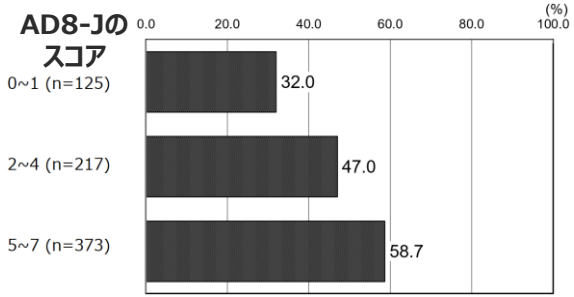
家族介護を始めたことで職場の人との関係が悪くなる

頻繁にあるor時々あると答えた方の割合



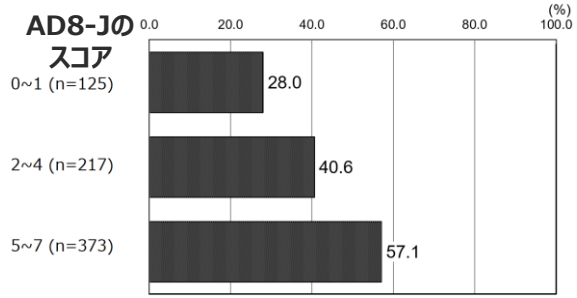
介護のために仕事を断る、または昇進をあきらめる

頻繁にあるor時々あると答えた方の割合



介護のために離職を検討する

頻繁にあるor時々あると答えた方の割合



※AD8-J：家族・介護者の情報に基づく軽度認知障害および認知症の簡易的・初期的な評価法。2点以上はMCI（軽度認知障害）もしくは認知症の可能性がある。得点が高いほど認知機能障害は重度。

介護をしている家族と同居している回答者のみ：n=714

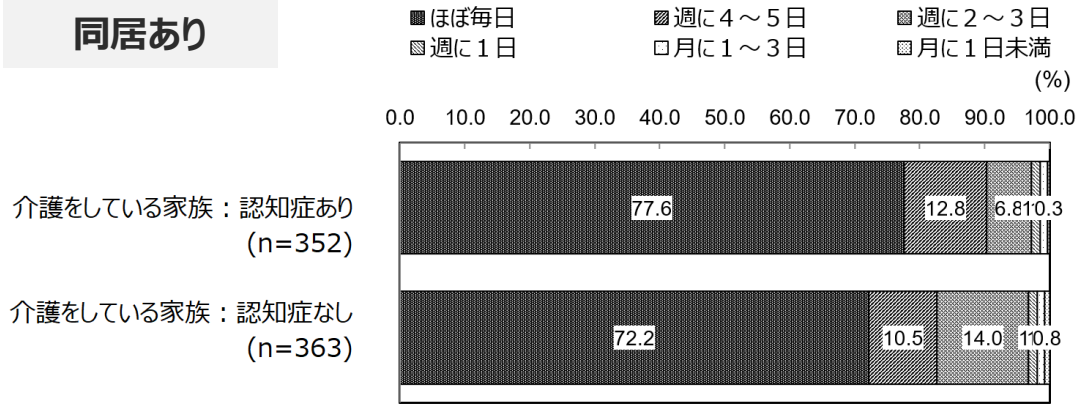
Copyright (C) 2025 The Japan Research Institute, Limited. All Rights Reserved.

Q5. 介護をしている家族の生活場所 × Q7. 介護をしている家族の認知症診断の有無 × Q4. 介護の頻度・1日あたりの時間

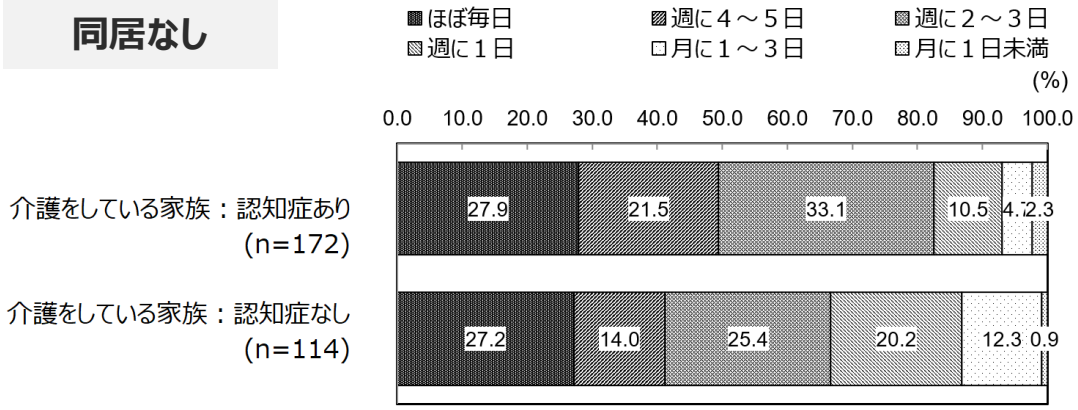
介護している家族と同居しており、1日当たりの介護時間が「ほとんど終日」と答えた人は、認知症あり家族介護の場合で約31%、認知症なし家族介護の場合で約9%

【介護の頻度】

同居あり

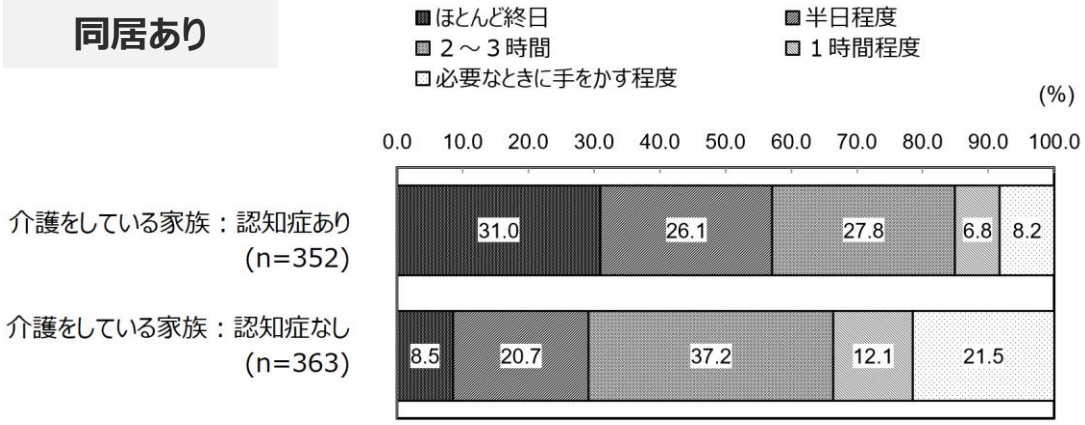


同居なし

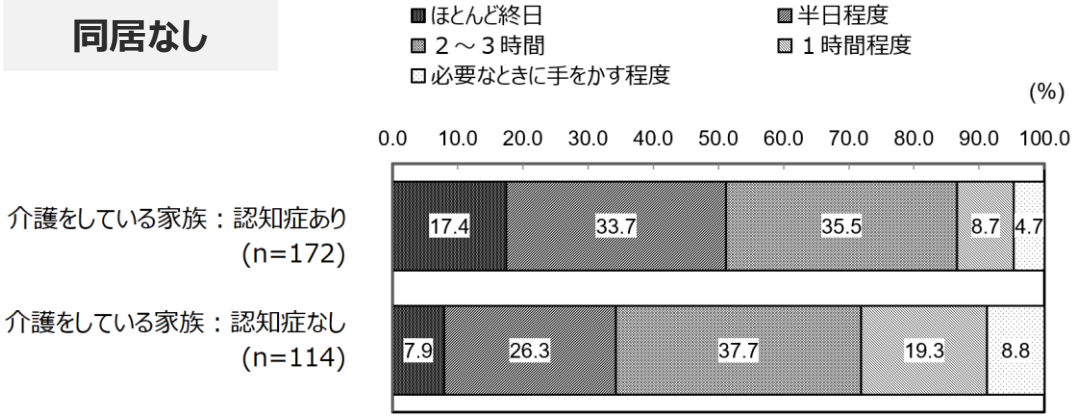


【介護の1日当たりの時間】

同居あり



同居なし



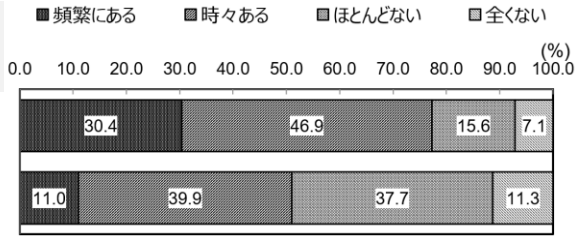
Copyright (C) 2025 The Japan Research Institute, Limited. All Rights Reserved.

Q7. 介護をしている家族の認知症診断の有無 × Q12. 介護による仕事への影響 (Q5. 介護をしている家族の生活場所：同居ありと答えた人のみ)

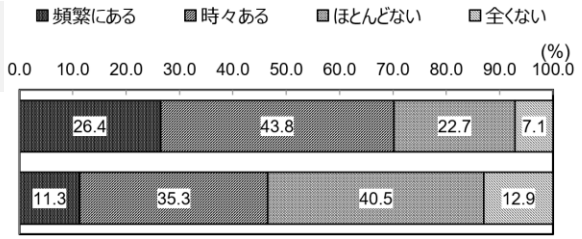
家族の介護について、仕事に対する影響があると答えた人は認知症家族を介護する人で50~77%、認知症なしの家族を介護する人で23~51%

家族の介護に対して、下記の仕事への影響がどの程度の頻度でありますか。(単回答)

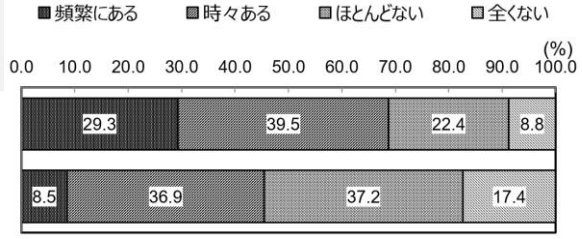
介護の精神的ストレスで仕事に集中できない



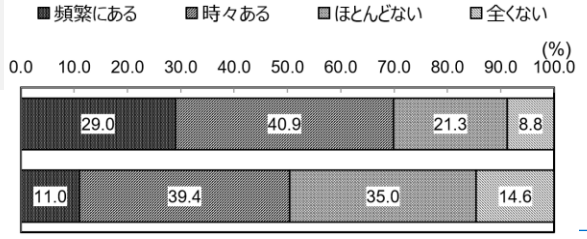
介護の肉体的な疲労が残ってしまい、仕事に身が入らない



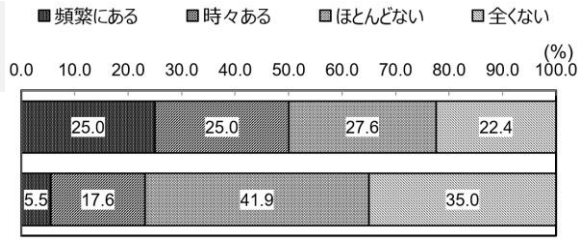
介護のために仕事の業務時間を減らす（欠勤や遅刻、早退をする）



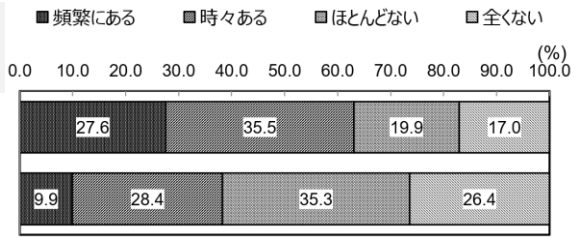
介護のために仕事の業務スケジュールや労働条件の調整を勤め先に依頼する



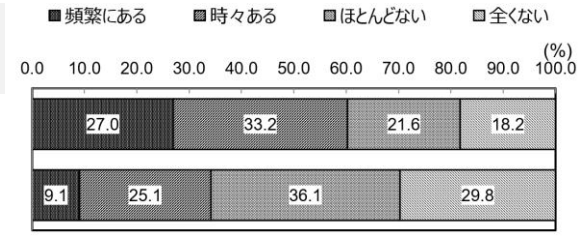
家族介護を始めたことで職場の人との関係が悪くなる



介護のために仕事を断る、または昇進をあきらめる



介護のために離職を検討する



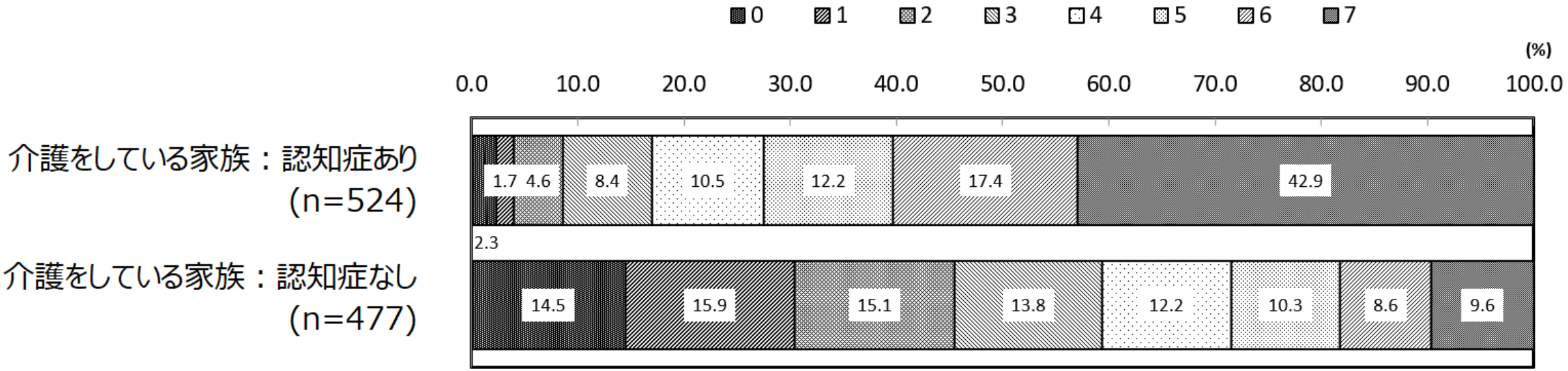
介護をしている家族と同居している回答者のみ：n=714

Copyright (C) 2025 The Japan Research Institute, Limited. All Rights Reserved.

Q7.介護をしている家族の認知症診断の有無 × Q6.介護をしている家族の認知機能状況（スコア換算後）

家族が認知症なしと答えた人のうち、AD8-Jスコアの測定において、認知症の検査陽性（MCIまたは認知症）となる2点以上のスコアを示した割合はで約70%

AD8-Jスコア（Q7の8つの質問を基にスコア化）



AD8-J
家族・介護者の情報に基づく軽度認知障害および認知症の簡易的・初期的な評価法。2点以上はMCI（軽度認知障害）もしくは認知症の可能性がある。得点が高いほど認知機能障害は重度。
各設問、はい=1点、それ以外=0点で計算される。

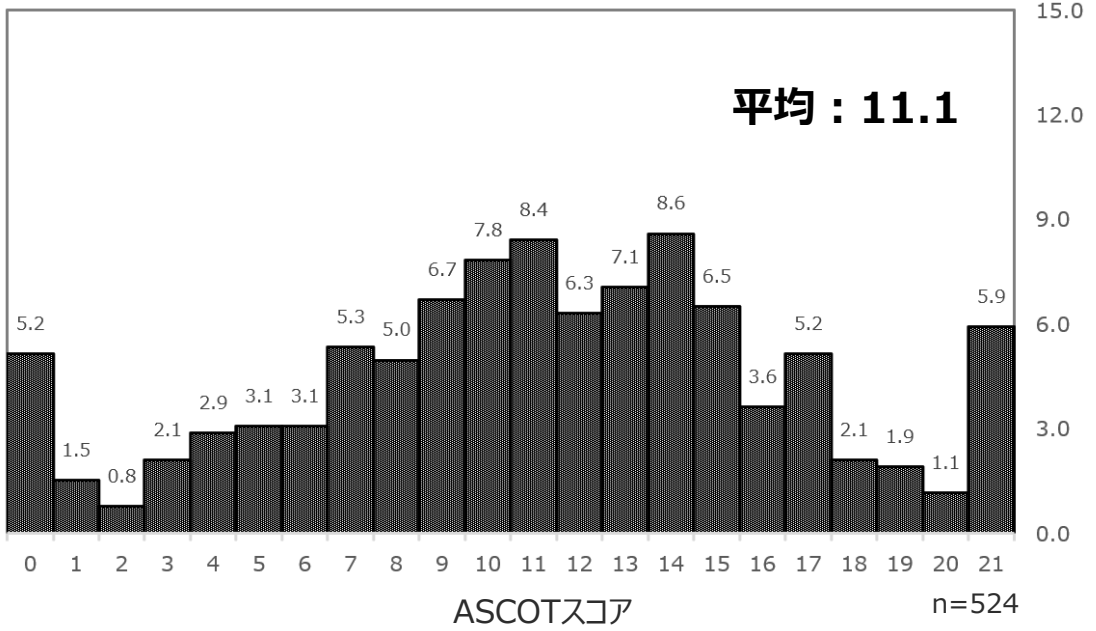
Copyright (C) 2025 The Japan Research Institute, Limited. All Rights Reserved.

Q7.介護をしている家族の認知症診断の有無 × Q11. 回答者のQOL（スコア換算後）

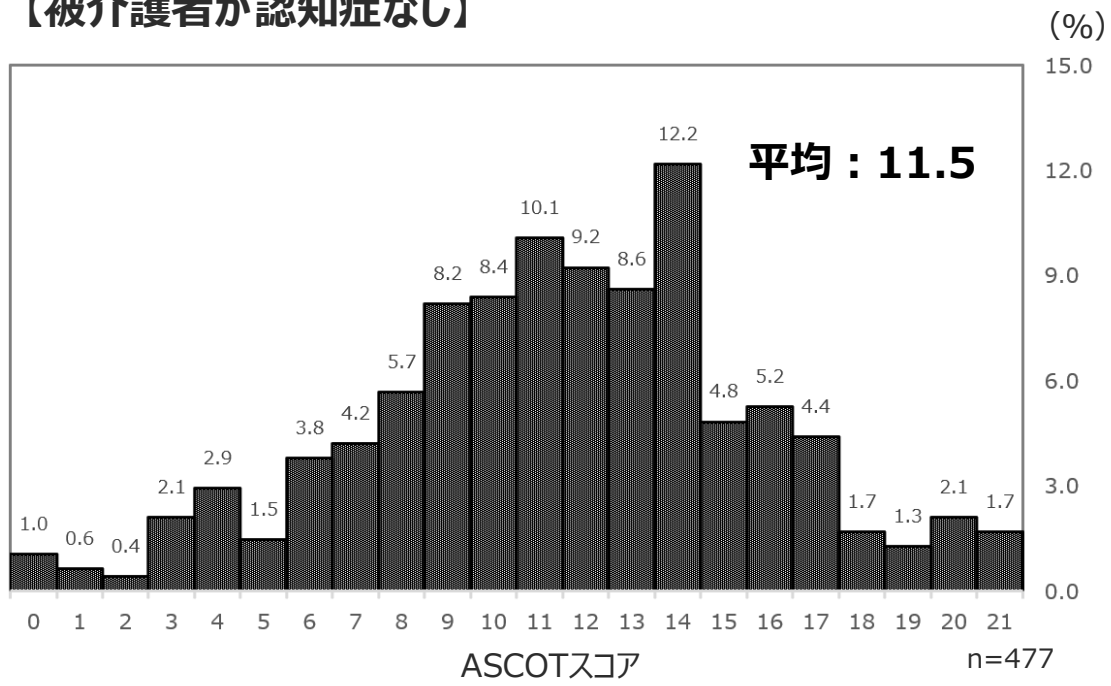
介護者のQOLを示すASCOTスコアは、認知症ありの家族を介護する人で平均11.1、認知症なしの家族を介護する人で平均11.5

ASCOTスコア化（7つの質問でスコア化）(単回答)

【被介護者が認知症あり】



【被介護者が認知症なし】



※ASCOT

介護者のQOLを測定する指標。21点満点でスコアが高いほどQOLが高い。「思い通りに」「おおむね」「あまり～ではない」「まったく～ではない」の順に３点、２点、１点、０点で算出。

Copyright (C) 2025 The Japan Research Institute, Limited. All Rights Reserved.

お問い合わせ

株式会社日本総合研究所
リサーチ・コンサルティング部門

ヘルスケア・事業創造グループ

マネジャー　徳永 陽太
E-mail: tokunaga.yota@jri.co.jp
Tel: 090-5509-7415

株式会社
日本総合研究所

〒141-0022
東京都品川区東五反田2丁目18番1号　大崎フォレストビルディング

〒550-0001
大阪市西区土佐堀2丁目2番4号　土佐堀ダイビル

本資料の著作権は株式会社日本総合研究所に帰属します。